

和歌山県の農林水産業



平成22年4月

和歌山県農林水産部

和歌山県の市町村



凡 例	内 容	市 町 村 別
	振 興 山 村 地 域	17
	過 疎 地 域 市 町 村	16
	農 振 法 対 象 外 地 域	2
	特 定 農 山 村 地 域	25

平成22年4月1日現在

※特定農山村地域のうち、
 海南市（旧下津町）、御坊市（旧名田村）、白浜町（旧北富田村、旧東富田村、旧日置川町）は一部指定

目 次

利用にあたって	1
I 和歌山県の農林水産業の特徴	3
1 和歌山県農林水産業の主要指標	3
2 和歌山県の農業の特徴	
1) 農業産出額の構成	4
2) 耕地面積当たりと農家一戸当たりの生産農業所得	4
3) 本県基幹作物の全国シェア	5
3 和歌山県の林業の特徴	
1) 森林資源	6
2) 民有林の森林資源の概況	6
3) 林家の構成	6
4 和歌山県の水産業の特徴	
本県の主な漁業生産の全国シェア	7
II 和歌山県の農林水産業の動向	8
1 農業部門	
1) 農業指標	8
2) 農業を担う人々	9
3) 耕地面積	10
4) 農業生産	12
5) 農業所得と農業産出額	27
6) 農業農村整備事業の基盤整備状況	30
2 林業部門	
1) 林業を担う経営体（林業経営体）	31
2) 森林資源・林業生産基盤	32
3) 林業生産	34
4) 林業所得と林業産出額	38
3 水産部門	
1) 水産業を担う人々	39
2) 水産業の基盤	40
3) 水産業の生産	41
4) 主な魚種別漁獲量・生産額の推移	42
III 農林水産関係施策を行っている主な課室	43

利用にあたって

- I) 本資料は、公表されている最新の数値を基本に、和歌山県の農林水産業の概要を示したものです。
- II) 公表されている数値の最新年次が全国と和歌山県で異なるなどのため、囲み掲載している「本県農林水産業の全国における位置」等、数値と本編の数値が一致しないものもあります。
- III) 数値等の出典は図の下に（ ）書きで示しています。

ただし、「本県農林水産業の全国における位置」は農林水産省統計表に基づいています。また、単位未満の数値は四捨五入、あるいは下記のとおり四捨五入を行っている調査もあるため、内容の計は必ずしも合計と一致しません。

桁 数		7 桁 以 上	6 ～ 5 桁	4 桁	3 桁 以 下
四捨五入の方法		100の位を 四捨五入	10の位を 四捨五入	1 の位を 四捨五入	四捨五入 しない
例	四捨五入前	1,234,567	123,456	1,234	123
	四捨五入後	1,235,000	123,500	1,230	123

- IV) 本資料で使われている主な統計用語は、次のとおりです。

(1) 農家とは……………経営耕地面積が10アール以上であるか又は過去1年間の農産物販売金額が15万円以上あるかのどちらかの要件を満たしている世帯。

(2) 販売農家とは………経営耕地面積30アール以上又は農産物販売金額50万円以上の農家。

単一経営農家 農産物の1位部門の販売金額が全体の80%以上を占める農家

複合経営農家 単一経営以外の農家で1位部門の販売金額が農産物総販売額の60%未満の農家

準単一複合経営農家 複合経営のうち1位部門の販売金額が農産物総販売額の60%以上80%未満の農家

(3) 自給的農家とは……………経営耕地面積30アール未満でかつ農産物販売金額50万円未満の農家。

利用にあたって

- (4) 基幹的農業従事者とは…自家農業に主として従事した世帯員のうち、普段農業に従事することを主としている者。
- (5) 農業専従者とは……………自家農業に従事している者であり、自家農業に従事した日数が150日以上の方。
- (6) 農家所得 = 農業所得 (農業粗収益から農業経営費を差し引いたもの) + 農外所得 (農外収入から農外収入をあげるために要した費用を差し引いたもの)
- (7) 生産農業所得 = 農業総産出額 × 所得率 + 農業生産に関わる経営補助金
- (8) 農業産出額とは……………農業生産活動による最終生産物の総生産額であり、市町村別の農産物別生産数量に市町村別農産物別農家庭先価格を乗じて算出したもの。市町村を推計単位としている。
- (9) 林業経営体とは……………次のいずれかに該当する事業を行う者。
① 権原に基づいて育林又は伐採を行うことができる山林の面積が3ha以上の林業。
② 委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業。
- (10) 林業就業者とは……………15歳以上で特定の1週間の間に林業に従事した者。
- (11) 上記のうち主として林業に就業している者とは……主に勤務や自営により林業の仕事をしていた場合。
- (12) 生産林業所得 = 林業産出額 × 所得率
- (13) 漁業世帯とは……………年間30日以上個人経営で海面漁業を営んだ漁業経営体および漁業経営体に雇われて、又は共同経営に出資従事して年間30日以上海面漁業の海上作業に従事した世帯員のいる世帯。
- (14) 漁業経営体とは ……………利潤または生活の資を得るために生産物(海面養殖業の収穫物を含む)を販売することを目的として海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯または事業所をいう。ただし海上作業従事日数が年間30日未満の個人経営体は除く。
- 個人経営体 年間30日以上個人経営で海面漁業を営んだ漁業経営体。
- (15) 漁業就業者とは……………漁業世帯の世帯員のうち、満15歳以上で過去1年間に海上作業に30日以上従事した者。
- (16) 漁業生産額とは……………年内に生産された水産物の総量に産地卸売価格を乗じて算出したもの。

I 和歌山県の農林水産業の特徴

1 和歌山県農林水産業の主要指標

	農 業			林 業			水 産 業		
担 う 人 々	農 家	平17.2.1 戸 36,351	% 100.0	林 家	平17 戸 11,935		漁 業 世 帯	平15 戸 4,054	
	販 売 農 家	平17.2.1 25,594	70.1	林 業 経 営 体	平17 経営体 3,128		漁 業 経 営 体	平20 経営体 2,513	
	自 給 農 家	平17.2.1 10,937	29.9				個 人 経 営 体	平20 経営体 2,403	
	専 業 農 家	平17.2.1 9,250	25.3						
	一 種 兼 業	平17.2.1 5,408	14.8						
	二 種 兼 業	平17.2.1 10,936	29.9						
	基幹的 農業従事者	平17.2.1 人 38,591		林 業 就 業 者	平17 人 1,021		漁 業 就 業 者	平20 人 3,922	
基 盤	農 業 専 従 者 (販売農家)	平17.2.1 31,652		うち主として林業に 就業していた者	830		自 営 漁 業 就 業 者	平20 2,521	
	耕 地	平20 ha 36,000	% 100.0	森 林 面 積	平21.4.1 ha 363,513		漁 船	平21 隻 5,704	% 100.0
	水 田	平20 10,900	30.3	民 有 林	平21.4.1 345,973	% 95.2	ジ ー ゼ ル	平21 4,001	70.1
	樹 園 地	平20 22,500	62.5	人 工 林	平21.4.1 210,003	60.7			
	普 通 畑	平20 2,540	7.1	天 然 林	平21.4.1 130,457	37.7			
	耕 地 利 用 率	平20 91.7	%	人 工 林 ha当蓄積	平21.4.1 m³ 358				
所 得	農 家 所 得 一 戸 当 り	平20 千円 3,196	% 100.0						
	農 業 所 得	平20 1,871	58.5						
	農 外 所 得	平20 1,325	41.5						
	生 産 農 業 所 得	平20 億円 417		生 産 林 業 所 得	平20 百万円 2,580				
産 出 額	農 業 産 出 額	平20 億円 1,079	% 100.0	林 業 産 出 額	平20 百万円 3,840	% 100.0	漁 業 生 産 額	平20 百万円 16,918	% 100.0
	米	平20 83	7.7	木 材	平20 2,040	53.1	魚 類	平20 9,725	57.5
	果 実	平20 651	60.3	木 炭	平20 700	18.2	水 産 動 物 類	平20 1,506	8.9
	うち み か ん	平20 257	23.8	特 用 林 産 物	平20 1,100	28.6	海 産 ほ 乳 類	平20 128	0.8
	うち う め	平20 164	15.2				貝 類	平20 287	1.7
	野 菜	平20 168	15.6				海 藻 類	平20 209	1.2
	花 き	平20 54	5.0				海 面 養 殖	平20 5,063	29.9
	畜 産	平20 64	5.9						

〔利用上の注意〕

農家調査は販売農家を抽出単位とし、センサスで確定された経営組織区分と県内農業地域に基づき部分母集団を設定した上で、部分母集団別に系統抽出された農家を対象とする標本調査であるため、その調査結果は推計による県計値となる。

(農林業の平成17年2月1日現在の数値は、2005年農林業センサスより)

(水産業を担う人々の数値は2008年 漁業センサス、漁船の数値は「県漁船統計表調」より)

2 和歌山県の農業の特徴

1) 農業産出額の構成

和歌山県の農業産出額の構成は全国・近畿とは大きく異なり、果実の構成比が60.3%と半分以上を占め果樹農業に特化している。

全 国 畜産＞野菜＞ 米 ＞果実＞花き

近 畿 米 ＞野菜＞畜産＞果実＞花き

和歌山 果実＞野菜＞ 米 ＞畜産＞花き

単位：億円、%

平成 20 年	和 歌 山 県		近 畿		全 国		全国シェア (①／②)
部 門	金 額①	構成比	金 額	構成比	金 額②	構成比	
農 業 産 出 額	1,079	100	4,658	100	86,509	100	1.2
米	83	7.7	1,302	28.0	19,312	22.3	0.4
野 菜	168	15.6	1,116	24.0	21,105	24.4	0.8
果 実	651	60.3	830	17.8	7,410	8.6	8.8
花 き	54	5.0	195	4.2	3,656	4.2	1.5
畜 産	64	5.9	901	19.3	27,108	31.3	0.2
そ の 他	58	5.4	314	6.7	7,920	9.2	

2) 耕地面積当たりと農家一戸当たりの生産農業所得

耕地面積当たりの生産農業所得は全国比121%と土地集約型農業が展開されている。

平成 20 年	和歌山県	近 畿	全 国	全 国 シェア	全国での 順位
生 産 農 業 所 得 (億円)	417	1,527	28,064	1.5%	24
耕地面積10アール当たり (千円)	116	65	96		—
農 家 一 戸 当 た り (千円)	1,141	540	1,167		—

(農林水産統計年報基礎資料)

3) 本県基幹農作物の全国シェア（全国5位以内）

果樹ある王国「わかやま」

平成20年産出額全国順位

う め 1 位（全国シェア 63.8%）

か き 1 位（全国シェア 20.8%）

みかん 2 位（全国シェア 17.0%）

も も 4 位（全国シェア 10.0%）

単位：億円、%

平成 20 年	産 出 額		全国シェア	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
農 作 物 名	和歌山県 (億円)	全 国 (億円)						
み か ん	257	1,509	17.0	愛 媛	和歌山	静 岡	熊 本	佐 賀
う め	164	257	63.8	和歌山	群 馬	山 梨	神奈川 (4 位)	奈 良 (4 位)
か き	77	371	20.8	和歌山	奈 良	福 岡	岐 阜	愛 知
え ん ど う	26	193	13.5	和歌山	鹿 児 島	愛 知	北 海 道	福 島
す も も	12	73	16.4	山 梨	和歌山	長 野	山 形	福 島
キウイフルーツ	9	82	9.8	愛 媛 (1 位)	福 岡 (1 位)	和歌山	神奈川 (4 位)	静 岡 (4 位)
し し と う	4	71	5.6	高 知	千 葉	和歌山	徳 島 (4 位)	宮 崎 (4 位)
も も	48	478	10.0	山 梨	福 島	岡 山	和歌山	長 野

※全国で産出額が50億円以上の品目で、本県が5位以内のもの（平成20年生産農業所得統計）

※本編での「えんどう」とは、うすいえんどう、きぬさやえんどう、オランダを合算したものである。

3 和歌山県の林業の特徴

森林資源の概況

和歌山県の森林面積は363,513ha、森林率は77%で全国第7位。その内、民有林面積は345,973haで95%を占める。

林家

2005年現在の林家数は11,935戸であるが保有林5ha以下の林家が全体の71.3%を占める。（ここでの林家とは保有山林面積が1ha以上の世帯）保有山林規模100ha以上の林家では、林家数の1.0%を占めるにすぎないが、保有面積で33.2%を占めている。

1) 森林資源 ～民有林を主とした森林資源の維持造成～

	全 国 %	和歌山 %	順位	全 国 順 位（上位5道府県）				
				1位	2位	3位	4位	5位
森 林 率	67.3	76.9	7位	高 知	岐 阜	島 根	長 野	山 梨
人 工 林 率	41.2	60.8	10位	佐 賀	高 知	愛 知	福 岡	三 重
国 有 林 率	30.6	4.8	42位	青 森	北 海 道	山 形	秋 田	群 馬
民 有 林 率	69.4	95.2	6位	山 梨	大 阪	京 都	山 口	奈 良

（林野庁計画課「森林資源表」平成19.3.31現在）

2) 民有林の森林資源の概況 ～人工林の蓄積は、全国屈指の資源量～

単位：千ha、千m³

	全 国	和歌山	順位	全 国 順 位（上位5道府県）				
				1位	2位	3位	4位	5位
人 工 林 面 積	7,983	210	15位	北 海 道	岩 手	長 野	岐 阜	高 知
人 工 林 蓄 積	2,227,696	73,696	9位	北 海 道	岩 手	高 知	熊 本	宮 崎
うち ス ギ	1,337,719	35,808	16位	秋 田	宮 崎	大 分	熊 本	岩 手
うち ヒ ノ キ	488,028	36,445	2位	岐 阜	和歌山	高 知	熊 本	静 岡

（林野庁計画課「森林資源表」平成19.3.31現在）

【参考】北海道の人工林は、カラマツ・トドマツ・エゾマツを中心とした資源構成。

3) 林家の構成

～小規模林家による森林所有と大規模森林所有者による林業経営～

保有山林面積規模別林家数と面積（和歌山県）

単位：戸、ha、%

	累 計	1～3	3～5	5～10	10～20	20～50	50～100	100以上
林 家 数	11,935	6,225	2,284	1,640	947	573	148	118
構成比	100.0	52.2	19.1	13.8	7.9	4.8	1.2	1.0
面 積	99,505	10,311	7,956	10,623	12,039	16,069	9,509	32,999
構成比	100.0	10.3	8.0	10.7	12.1	16.1	9.6	33.2

（2005年農林業センサス）

保有山林面積規模別林家数と面積（全国）

単位：戸、ha、%

	累 計	1～3	3～5	5～10	10～20	20～50	50～100	100以上
林 家 数	919,833	526,694	165,080	120,453	64,857	32,610	6,900	3,239
構成比	100.0	57.3	17.9	13.1	7.1	3.5	0.7	0.4
面 積	5,186,792	865,145	585,024	782,222	832,741	906,912	440,955	773,793
構成比	100.0	16.7	11.3	15.1	16.0	17.5	8.5	14.9

（2005年農林業センサス）

4 和歌山県の水産業の特徴

本県の主な漁業生産の全国シェア

南北に長いリアス式海岸線を擁する和歌山県では、各地で沿岸・沖合漁業を中心に多種多様な漁業が営まれている。

1) 漁業種類別漁獲量

単位：トン、%

平成20年 区 分	漁業種類別 漁獲量		全 国 シェア	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10位
	和歌山県	全 国											
ひき縄釣	1,755	27,352	6.4	高 知	長 崎	沖 縄	和歌山	宮 崎	千 葉	三 重	兵 庫	広 島	山 口
沿岸かつお一本釣	393	11,001	3.6	高 知	三 重	愛 媛	鹿児島	沖 縄	宮 崎	和歌山	神奈川	徳 島	
中・小型まき網	15,476	419,526	3.7	長 崎	島 根	千 葉	三 重	鹿児島	宮 崎	和歌山	愛 媛	高 知	大 阪
その他の網漁業	1,941	56,328	3.4	静 岡	宮 城	山 口	熊 本	鹿児島	香 川	長 崎	和歌山	神奈川	千 葉

注 その他の網漁業： ○陸岸にひき寄せる網具を使用して行う漁業。地びき網
○敷網を使用して行う漁業で、さんま棒受網以外のもの。張り網、四つ手網、棒受網（あじ、さば等）、込ませ網、あんこう網、（沖縄式）追込み網
○その他。建干し網、建切り網、たもすくい（さば）、すくい網、投網

2) 魚種別漁獲量

単位：トン、%

平成20年 区 分	魚種別漁獲量		全 国 シェア	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10位
	和歌山県	全 国											
あじ類計	8,320	207,033	4.0	長 崎	島 根	鳥 取	三 重	愛 媛	和歌山	鹿児島	石 川	山 口	宮 崎
むろあじ類	4,646	34,711	13.4	長 崎	和歌山	三 重	宮 崎	鹿児島	高 知	静 岡	愛 媛	兵 庫	山 口
海産ほ乳類	271	1,154	23.5	岩 手	和歌山	北海道	石 川	長 崎	青 森	宮 城	沖 縄	三 重	高 知
いせえび	157	1,401	11.2	千 葉	三 重	和歌山	静 岡	鹿児島	長 崎	宮 崎	徳 島	東 京	高 知
たちうお	1,921	16,399	11.7	愛 媛	大 分	長 崎	和歌山	兵 庫	広 島	徳 島	山 口	熊 本	宮 崎
い さ き	213	4,775	4.5	長 崎	山 口	福 岡	三 重	島 根	高 知	神奈川	和歌山	静 岡	大 分
養殖まだい	2,904	71,588	4.1	愛 媛	熊 本	三 重	高 知	長 崎	和歌山	香 川	大 分	静 岡	鹿児島
内水面漁業 養殖あゆ	1,243	5,940	20.9	和歌山	愛 知	徳 島	滋 賀	岐 阜	宮 崎	栃 木	静 岡	高 知	鹿児島

注 あじ類：まあじとむろあじ類の合計
海産ほ乳類：いるか類及びくじら類（捕鯨漁業により捕獲されたものを除く）
注 養殖まだいについては、東京、大阪、千葉、島根、山口、石川、福岡、徳島が秘密保護のため順位に含まれていない。
注 内水面漁業養殖あゆについては、北海道、三重、京都、大分、山口、新潟、富山、石川、宮城、青森、岩手、香川、山梨、愛媛、奈良、福岡、長崎、東京、茨城、千葉、岡山、島根、福島、福井が秘密保護のため順位に含まれていない。

（農林水産統計年報）

Ⅱ 和歌山県の農林水産業の動向

1 農業部門

1) 農業指標

本県の総農家数は36,531戸、うち販売農家数25,594戸である。販売農家のうち専兼別の比率は専業36.1%、1種兼業21.1%、2種兼業42.7%で2種兼業農家の比率が高まっている。（2005年「農林業センサス」結果より）

耕地面積は36,000haであり、その利用形態は水田30.3%、樹園地62.5%、普通畑11.3%である。

農業産出額は10,792千万円（構成比：米7.7% 果実60.3% 野菜15.5% 花き5.1% 畜産5.9%）

	平成17年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
総農家	戸	%	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
販売農家	25,594	(100.0)	4,813	4,294	2,943	4,256	5,038	3,547	703
専業	9,250	25.3 (36.1)	1,538	1,373	917	1,731	1,902	1,478	308
1 兼	5,408	14.8 (21.1)	804	943	554	1,147	1,129	778	51
2 兼	10,936	29.9 (42.7)	2,471	1,978	1,472	1,378	2,007	1,291	335
	平成20年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
耕地面積	ha	%	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
水田	10,900	30.3	2,917	2,083	1,106	598	2,154	1,399	675
樹園地	22,500	62.5 (100.0)	3,122	3,504	3,106	5,238	3,669	3,704	158
みかん	8000	(35.6)	1,922	902	230	3,853	375	718	6
はっさく	1,170	(5.2)	107	575	75	223	160	24	3
うめ	5,640	(25.1)	121	203	204	73	2,618	2,404	13
もも	788	(3.5)	53	584	145	4	2	0	0
かき	2,890	(12.8)	283	664	1,887	37	12	8	3
普通畑	2,540	11.3	546	208	165	244	867	318	195
	平成20年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
農業産出額	千万円	%	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円
米	833	7.7	250	152	77	38	172	108	36
果実	6,508	60.3	848	1,175	811	1,767	975	919	13
野菜	1,677	15.5	509	278	77	96	619	52	46
花き	545	5.1	34	84	23	60	290	43	11
畜産	638	5.9	112	χ	χ	106	χ	χ	43

※ ラウンドしているため、各数値の積上げが、合計と一致しない場合があります。

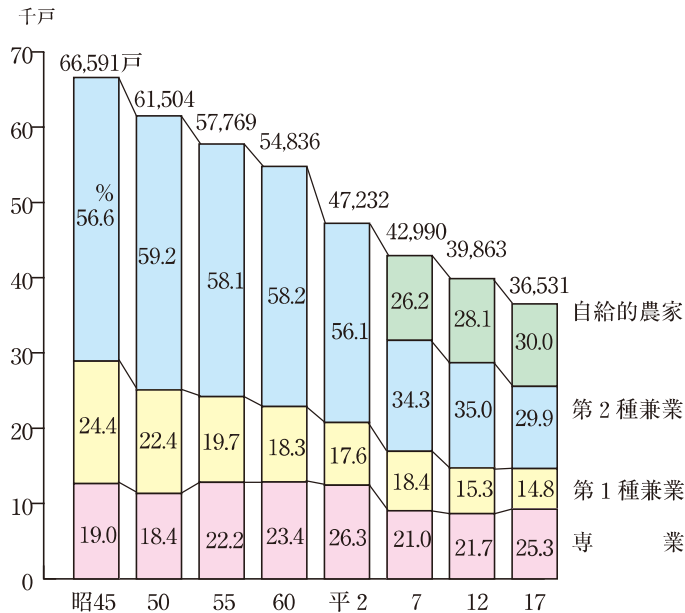
※ 「χ」は、統計法に基づく秘密保護のため、公表されていないものです。

（農林業センサス・農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ）

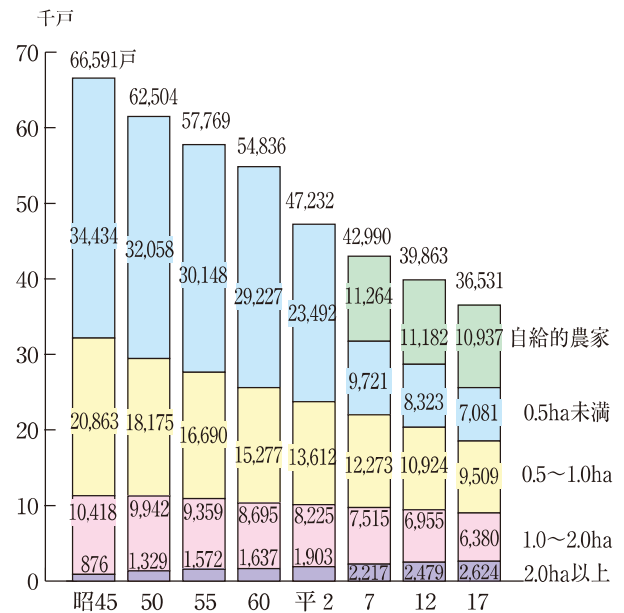
2) 農業を担う人々

平成17年の農家戸数は 36,531 戸で減少傾向が続いている。経営規模が1ha未満の農家が 75.4%を占める。年齢別の基幹的農業従事者では60歳以上の占める割合が 63.4%と増加している。平成7年以降、新規就農者数は増加傾向にある。

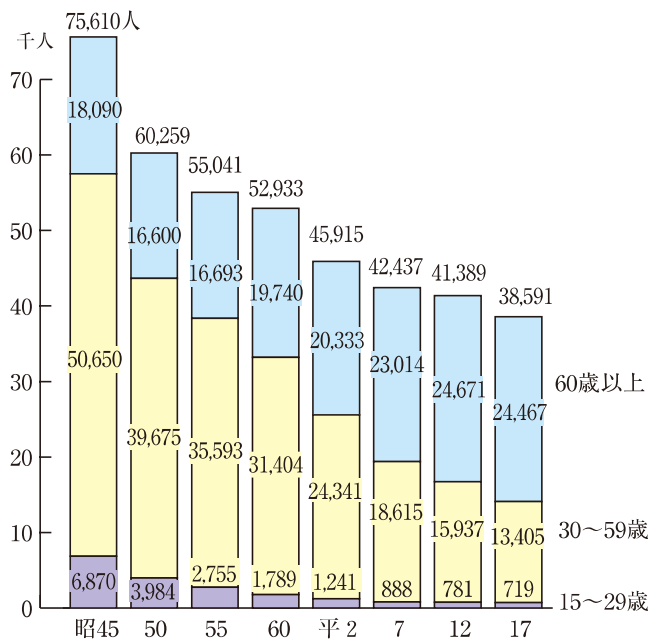
専兼業別農家数の推移



経営規模別農家数の推移



基幹的農業従事者数（年齢別）の推移

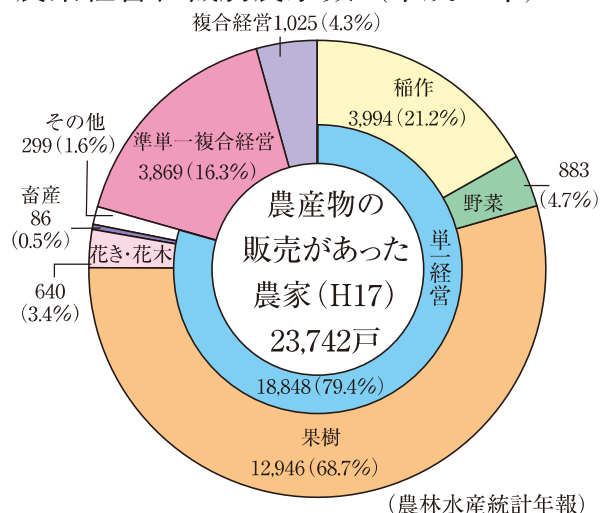


農家数						
〔平17〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名
総農家数	2,848,166	36,531	38	1.3	長野	茨城
販売農家数	1,963,424	25,594	36	1.3	茨城	新潟

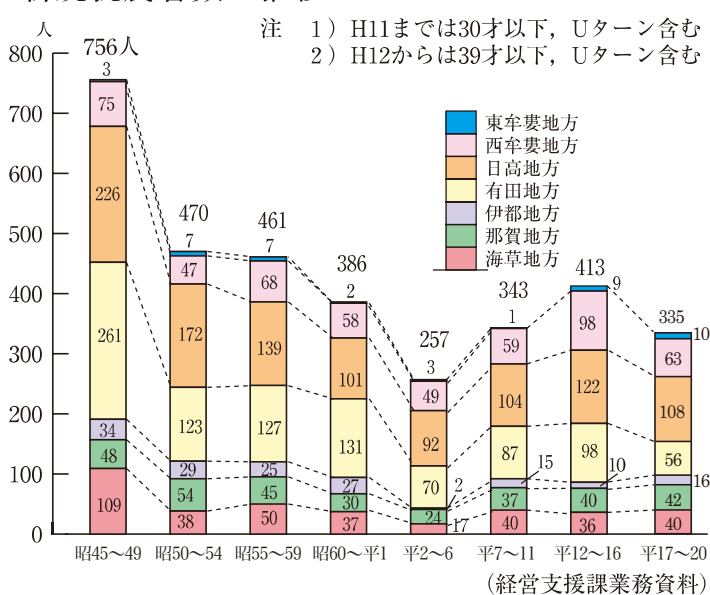
※本調査は、平成8年より調査対象が変更（総農家→販売農家）されていますので、ご利用の際は、ご注意ください。

（農林業センサス・農林水産統計年報）

農業経営組織別農家数（平成17年）



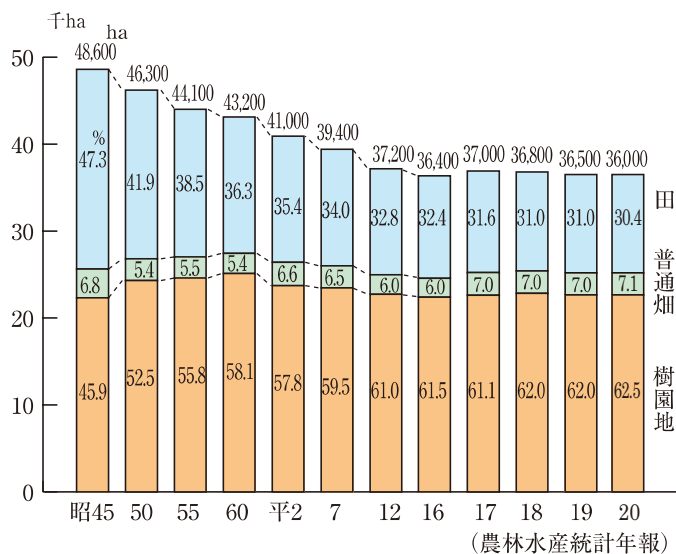
新規就農者数の推移



3) 耕地面積

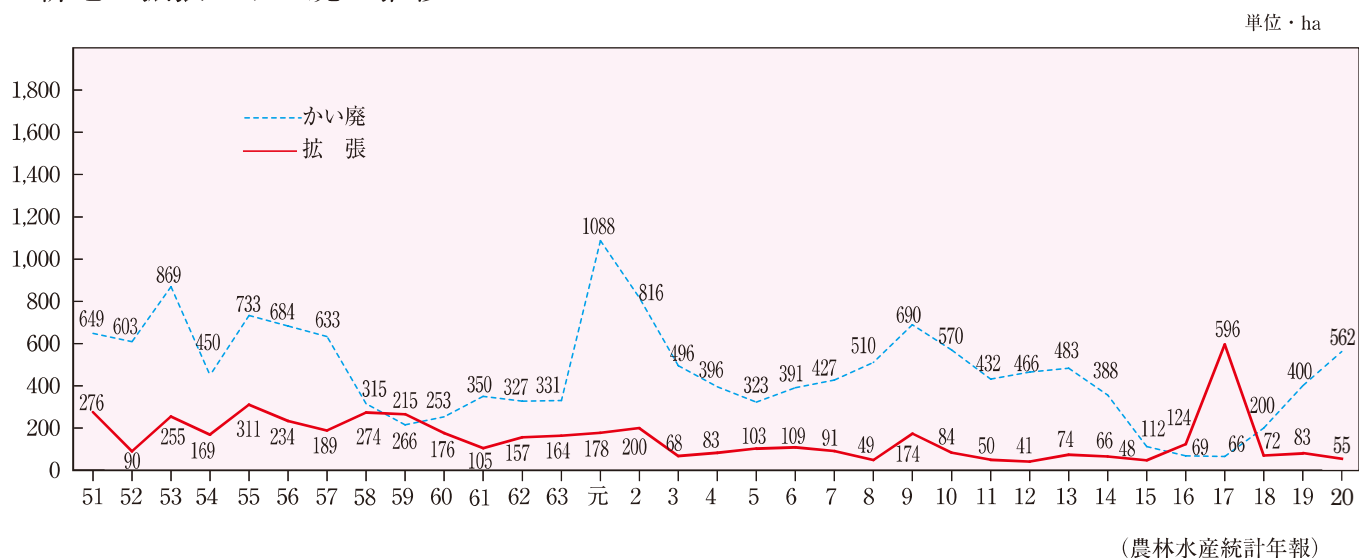
耕地面積は減少傾向にあるなかで樹園地の比率が高まっている。
施設面積は平成9年の909ha(耕地面積の2.3%)をピークに減少している。

田畑別耕地面積の推移

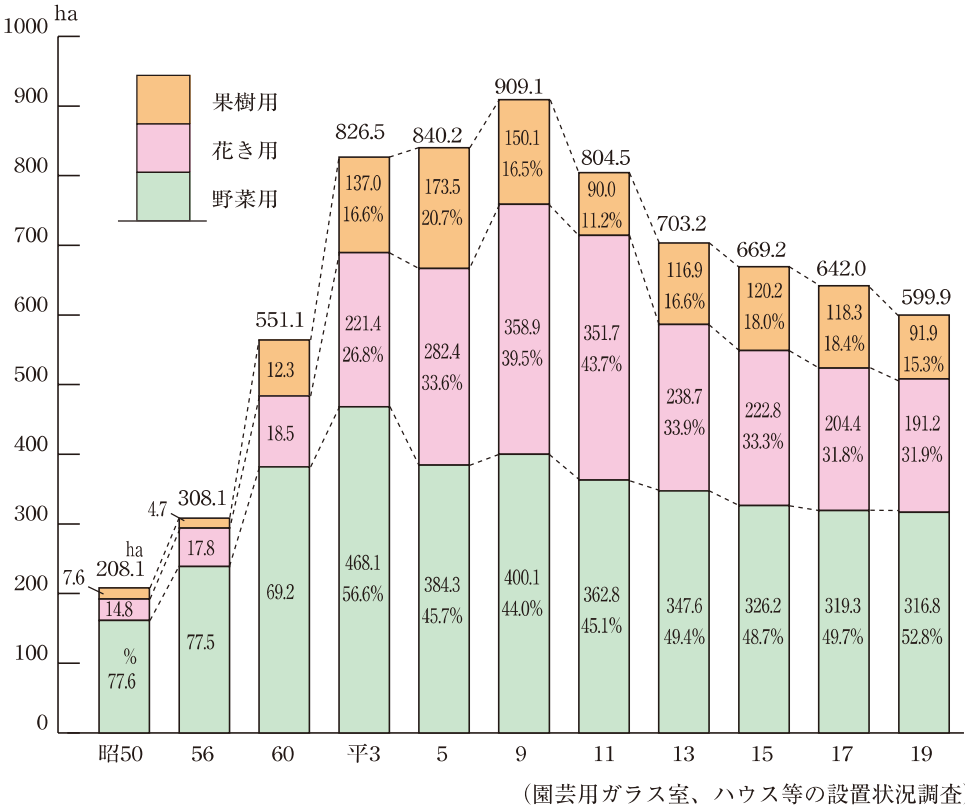


〔平20〕	耕 地 面 積					
	全国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位
	実数	実数	順位	シェア (%)	県名	県名
耕地面積合計(ha)	4,628,000	36,000	37	0.8	北海道	茨 城 新 潟
田	2,516,000	10,900	42	0.4	北海道	新 潟 秋 田
畑	2,112,000	25,100	21	1.2	北海道	鹿 児 島 茨 城

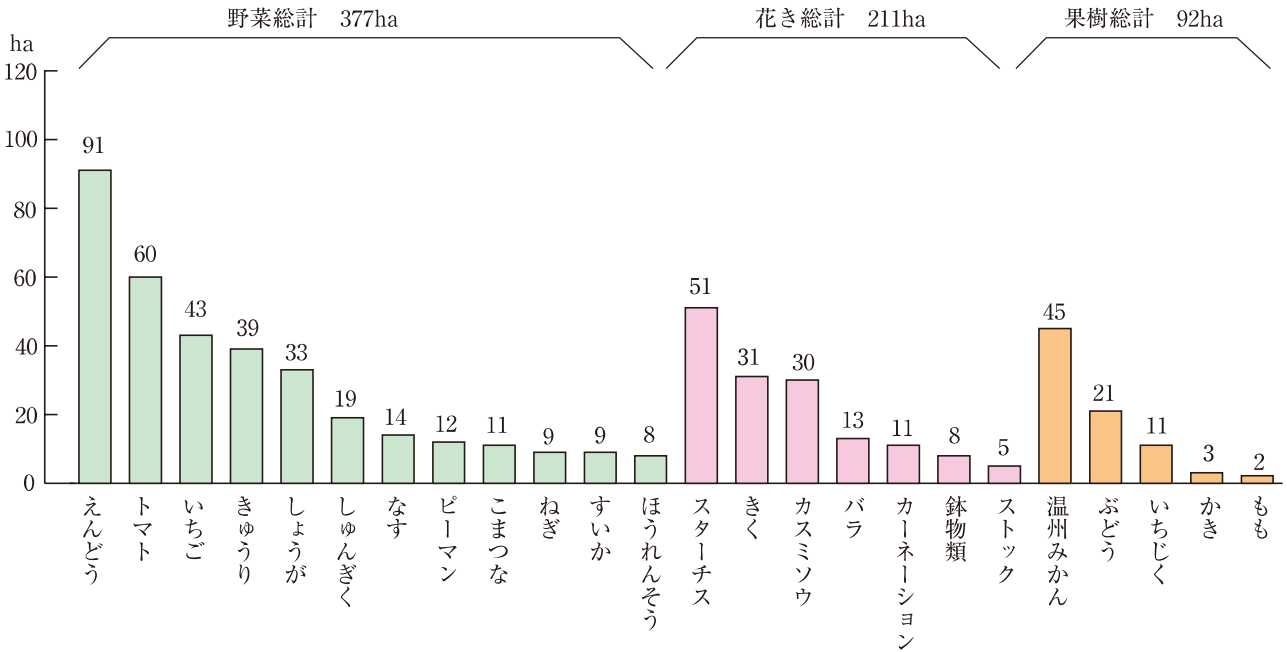
耕地の拡張・かい廃の推移



施設設置面積の推移



主要品目別施設栽培延面積 (平19)



施設園芸作付延面積の推移

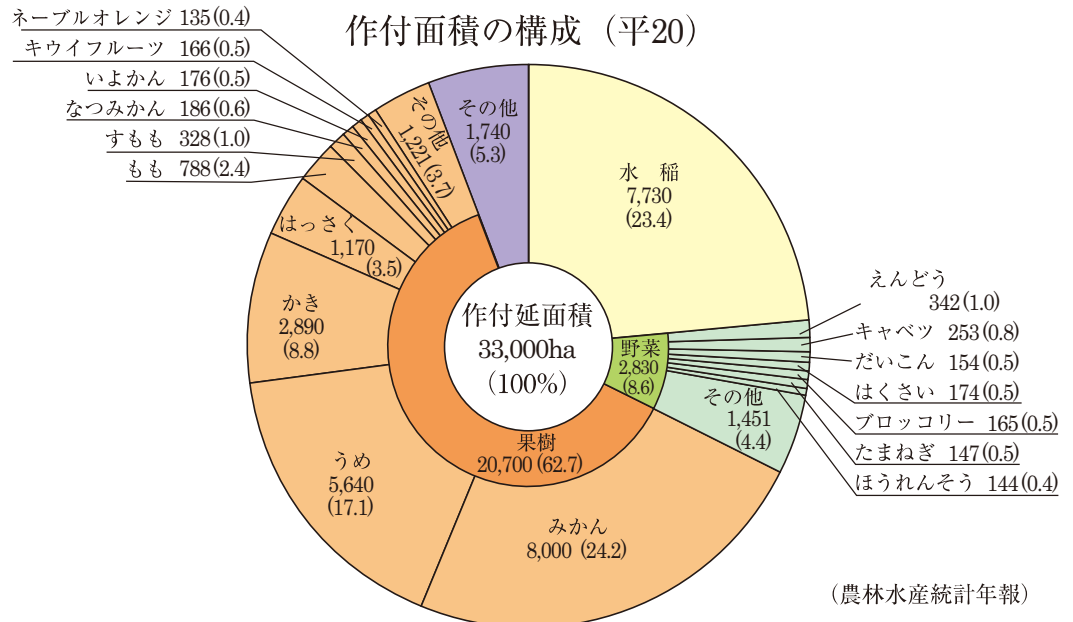
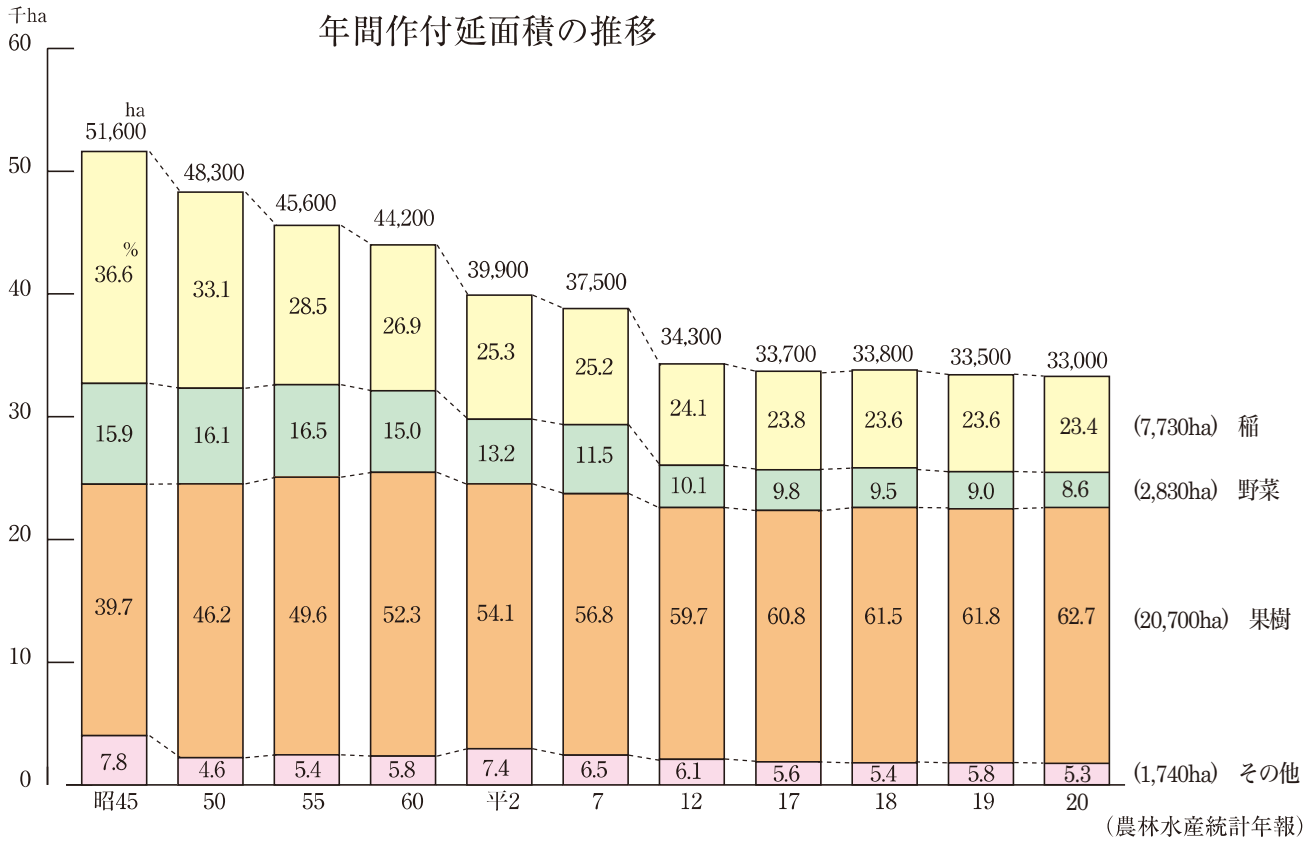
	昭50	55	60	平2	5	9	11	13	15	17	19
野 菜	197	358	663	580	459	474	418	432	380	382	377
花 き	35	79	180	276	353	413	362	266	210	220	211
果 樹	16	15	80	137	174	150	99	117	120	118	92
合 計	248	452	923	993	986	1,037	879	815	710	720	680

(園芸用ガラス室、ハウス等の設置状況調査)

4) 農業生産

年間作付け面積の構成 —— 果樹（62.7％）・水稲（23.4％）・野菜（8.6％）

水稲、野菜の作付け面積の減少に比べ果樹の作付け面積の減少率は低く、年々果樹のウエイトが高くなっている。



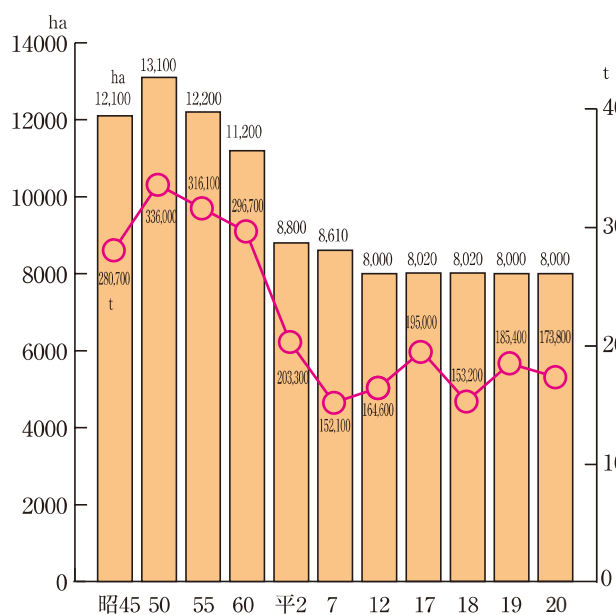
作 付 延 面 積						
〔平20〕	全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シエア(%)	県 名	県 名
作付延面積 (ha)	4,265,000	33,000	36	0.8	北海道	茨 城
稲	1,627,000	7,730	42	0.5	新 潟	秋 田
野 菜	554,400	2,830	43	0.5	北海道	千 葉
果 樹	254,700	20,700	3	8.1	青 森	愛 媛

かんきつ類の栽培面積及び収穫量の推移

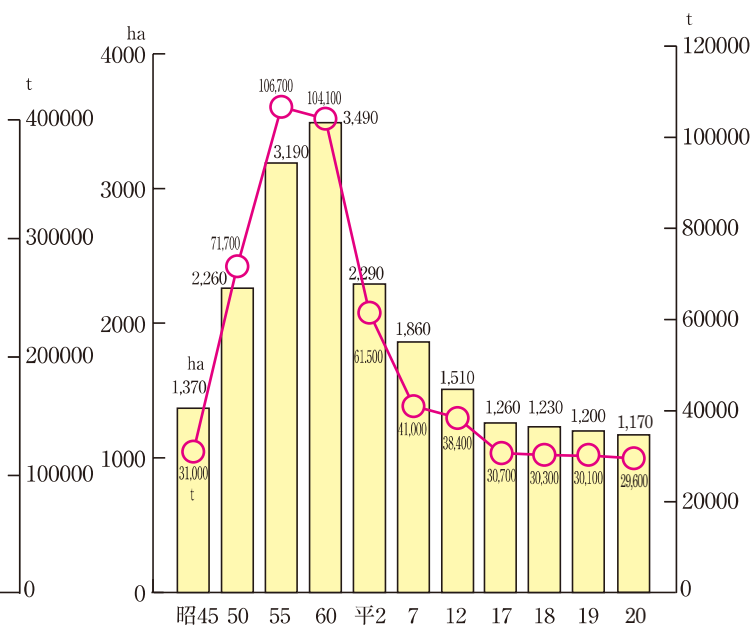
- みかん：みかんの生産過剰とオレンジ輸入自由化により、昭和50年から平成2年にかけて栽培面積は急激に減少するが、平成2年から緩やかな減少傾向となる。収穫量については平成8年以降、隔年結果が顕著になっている。
- はっさく・ネーブルオレンジ：みかんの転換作物として昭和60年まで栽培面積は増加するが、収益性の低下により減少する。近年減少傾向がやや鈍化している。

平成20年の全国順位とシェア（栽培面積）—— みかん1位（16.0%）

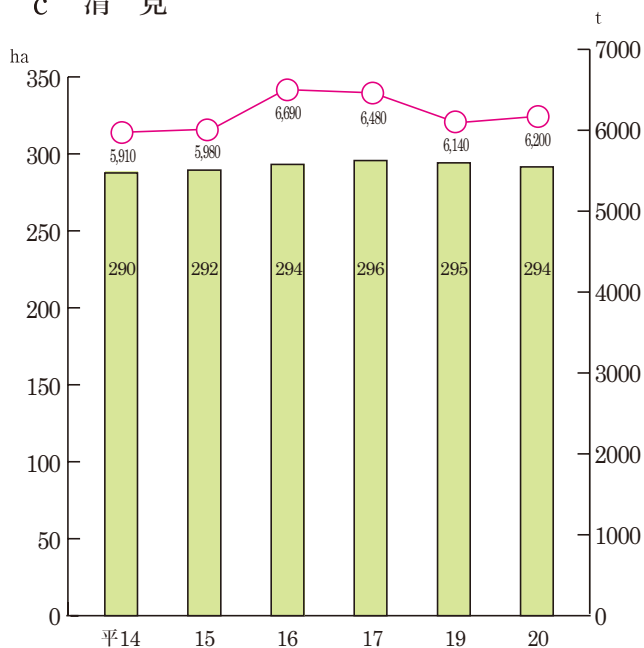
a みかん



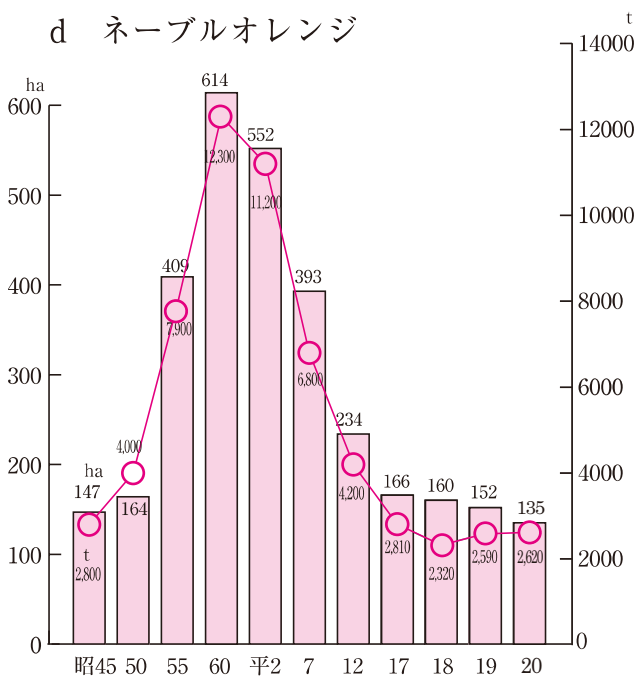
b はっさく



c 清見



d ネーブルオレンジ

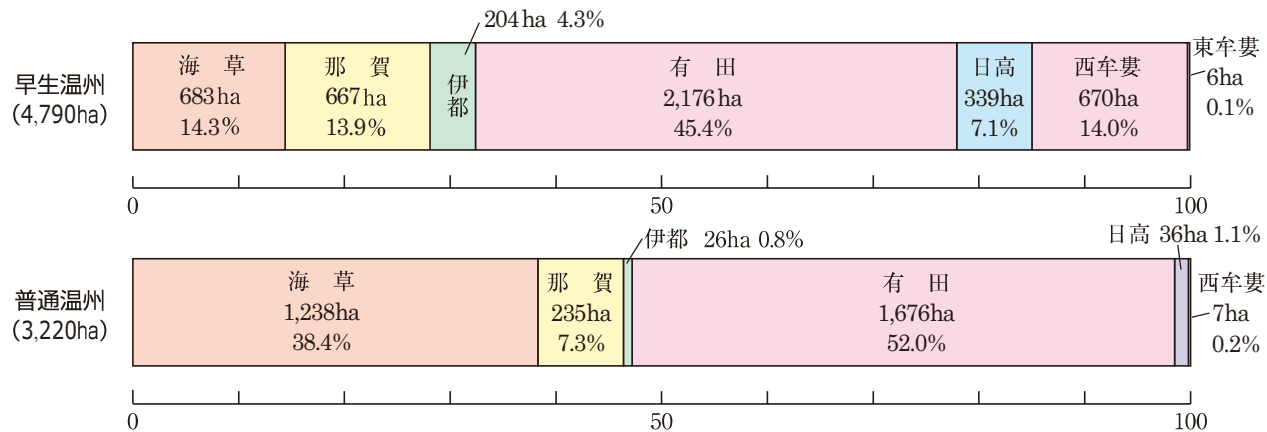


□ 栽培面積 (ha)

○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

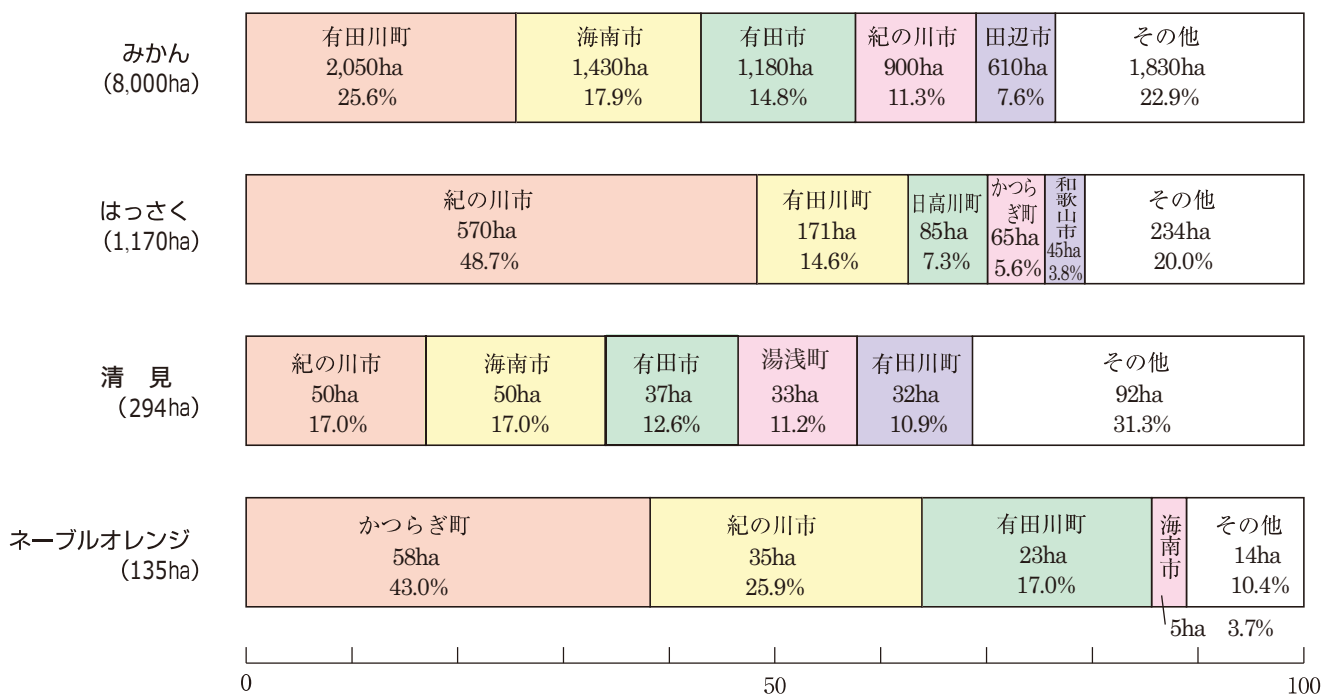
郡別・みかんの栽培面積（平20）



（市町村別統計検討協議会調べ）

市町村別・かんきつ類の栽培面積

〔上位 5 市町村〕（平20）



（市町村別統計検討協議会調べ）

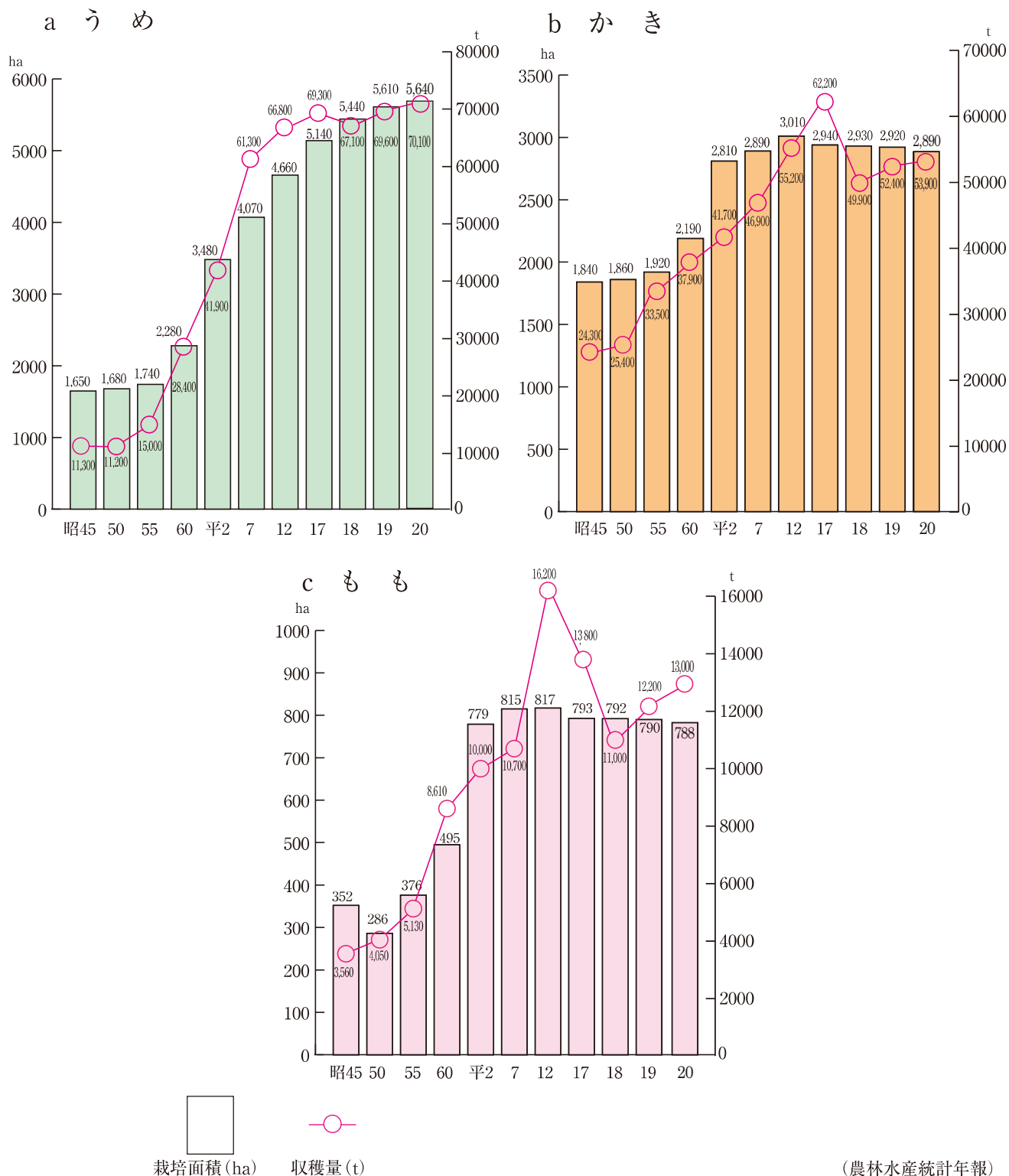
みかんの栽培面積							
〔平20〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
み か ん	49,900	8,000	1	16.0	和歌山	愛 媛	静 岡

落葉果樹の栽培面積及び収穫量の推移

落葉果樹全体では、昭和55年以降みかんからの転作により栽培面積は増加傾向であったが、現在は横ばいである。

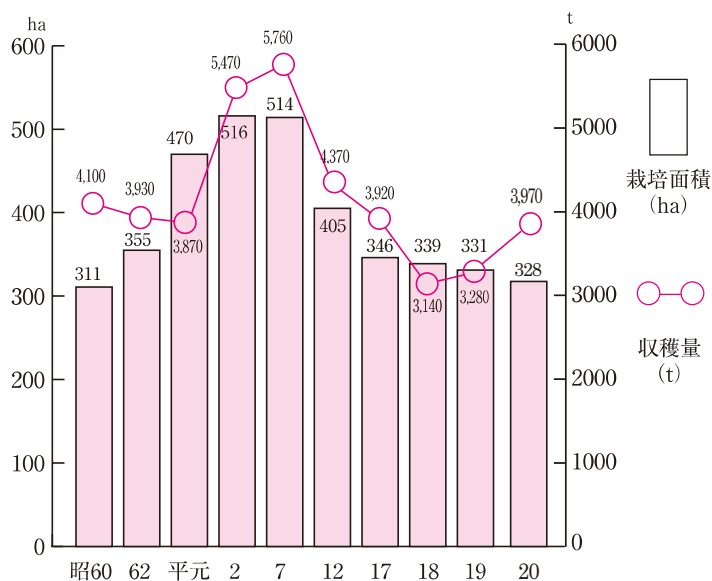
- かき・もも：昭和55年から平成2年にかけ栽培面積が急増し、それ以降は微増傾向となっている。
- うめ：昭和55年から平成7年にかけ健康食ブームと相まって栽培面積が急増し、それ以降も増加傾向である。
- すもも・キウイフルーツ：平成2年をピークに栽培面積は減少傾向、キウイは減少が著しい。

平成20年の全国順位とシェア（栽培面積）—— う め 1 位（30.5%）・か き 1 位（12.0%）
 も も 4 位（7.1%）・すもも 3 位（10.1%）
 キウイフルーツ 3 位（6.6%）

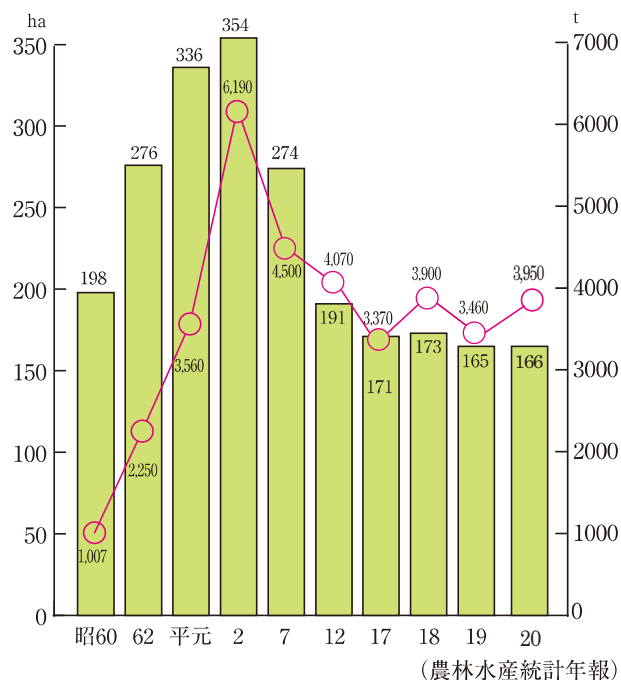


(農林水産統計年報)

d すもも



e キウイフルーツ



(農林水産統計年報)

市町村別・落葉果樹の栽培面積 (平20)

う め
(5,640ha)

みなべ町	田辺市	上富田町	印南町	紀の川市	その他
2,140ha	1,890ha	320ha	300ha		790ha
37.9%	33.5%	5.7%	5.3%		14.0%

200ha 3.7%

か き
(2,890ha)

かつらぎ町	橋本市	紀の川市	九度山町	紀美野町	その他
868ha	681ha	662ha	337ha	215ha	127ha
30%	23.6%	22.9%	11.7%	7.4%	4.5%

九度山町 5ha 0.6%
和歌山市 15ha 1.9%
12ha 1.5%

も も
(788ha)

紀の川市	かつらぎ町	海南市	その他
581ha	138ha	37ha	
73.7%	17.5%	4.7%	

すもも
(328ha)

かつらぎ町	紀の川市	田辺市	橋本市	有田川町	その他
138ha	50ha	47ha	33ha	22ha	38ha
42.0%	15.2%	14.3%	10.1%	6.7%	11.6%

キウイフルーツ
(166 ha)

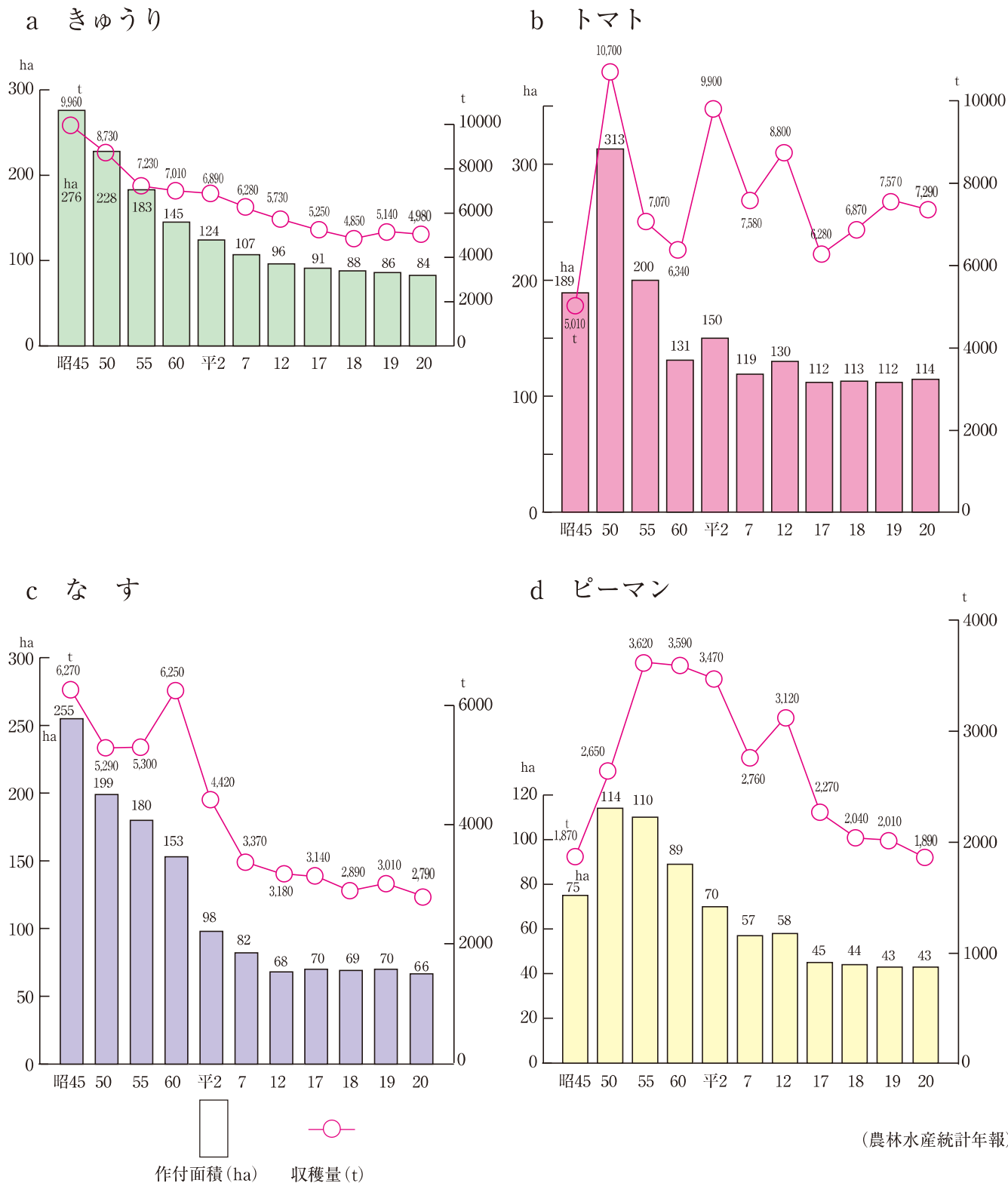
紀の川市	有田川町	海南市	かつらぎ町	その他
96ha	20ha	26ha	14ha	10ha
57.8%	12.0%	15.7%	8.4%	6.0%

0 50 100
(農林水産統計年報)

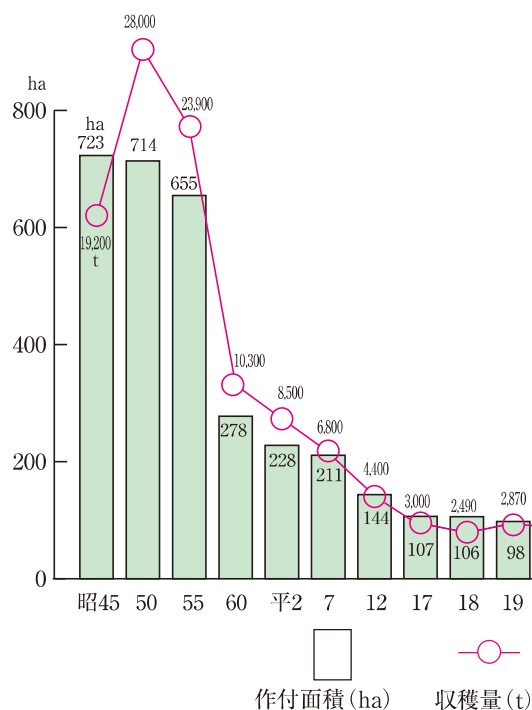
栽 培 面 積 (落葉果樹)		(ha)					
〔平20〕		全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位
		実 数	実 数	順 位	シエア(%)	県名	県名
う め		18,500	5,640	1	30.5	和歌山	群馬
か き		24,000	2,890	1	12.0	和歌山	福岡
も も		11,100	788	4	7.1	山梨	福島
す も も		3,240	328	3	10.1	山梨	長野
キウイフルーツ		2,510	166	3	6.6	愛媛	福岡

果菜類の作付面積及び収穫量の推移

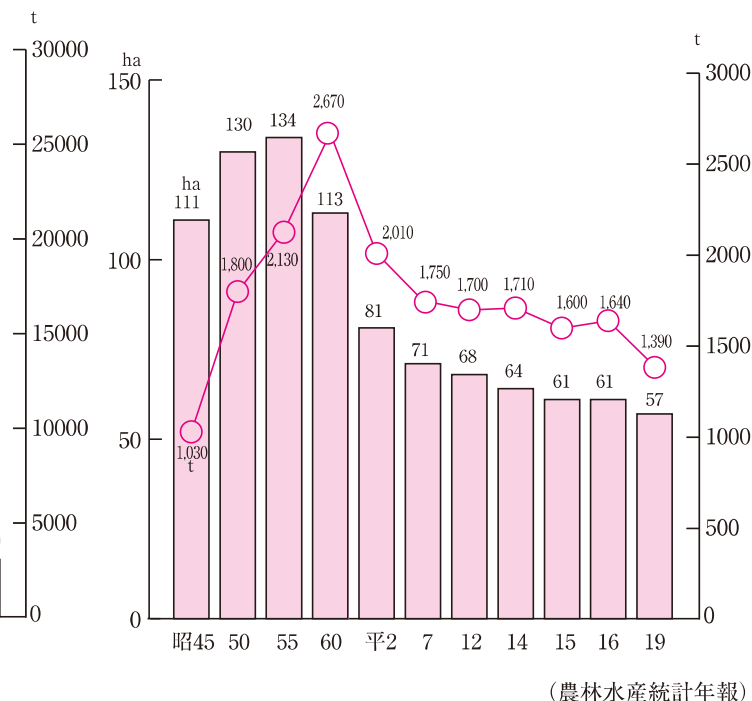
栽培面積は減少傾向であるが、その傾向は近年やや鈍化している。



e すいか



f いちご



市町村別・果菜類の作付面積（平20）

きゅうり (84 ha)	紀の川市 24ha 28.6%	美浜町 11ha 13.0%	かつらぎ町 7ha 8.3%	印南町 6ha 7.1%	日高町 5ha 6.0%	その他 31ha 37.0%	
トマト (114 ha)	印南町 21ha 18.4%	紀の川市 14ha 12.3%	有田川町 13ha 11.4%	日高町 13ha 11.4%	和歌山市 10ha 8.8%	御坊市 6ha 5.3%	その他 37ha 32.4%
なす (66 ha)	紀の川市 12ha 18.2%	和歌山市 5ha 7.6%	日高川町 5ha 7.6%	御坊市 5ha 7.6%	かつらぎ町 5ha 7.6%	その他 34ha 51.4%	
ピーマン (43 ha)	和歌山市 9ha 20.9%	有田川町 7ha 16.3%	御坊市 7ha 16.3%	日高川町 3ha 7.0%	紀の川市 3ha 7.0%	その他 24ha 32.5%	
すいか (95 ha)	印南町 37ha 38.9%	御坊市 16ha 16.8%	紀の川市 11ha 11.6%	和歌山市 7ha 7.4%	その他 24ha 25.3%		
いちご (61 ha)	打田町 16ha 26.2%	貴志川町 7ha 11.5%	粉河町 4ha 6.6%	御坊市 3ha 4.9%	湯浅町 3ha 4.9%	みなべ町 3ha 4.9%	その他 25ha 41.0%

0

50

1

※いちごの数値は平成16年（農林水産統計年報）

(市町村別統計検討協議会調べ)

作 付 面 積（果菜類）								(ha)		
〔平20〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位			
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名			
きゅうり	12,500	84	39	0.7	群馬	福島	宮崎			
トマト	12,500	114	35	0.9	熊本	茨城	千葉			
なす	10,600	66	44	0.6	新潟	群馬	山形			
ピーマン	3,430	43	25	1.3	茨城	宮崎	岩手			
すいか	12,300	95	24	0.8	熊本	千葉	山形			
いちご	6,580	57	33	0.9	栃木	福岡	熊本			

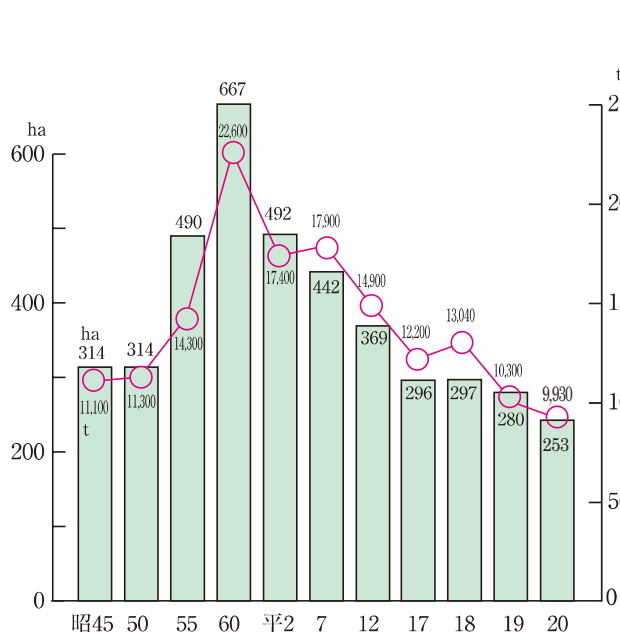
※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

※いちごの数値は平成19年

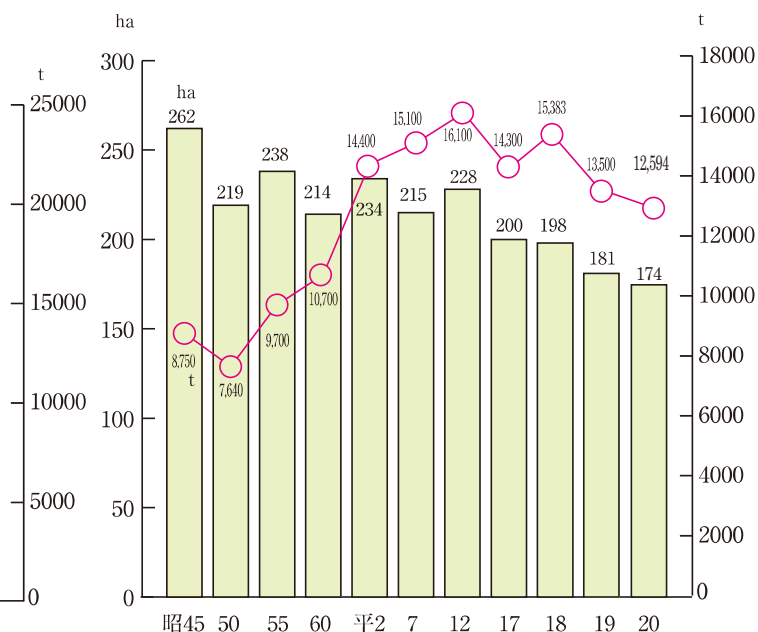
葉茎菜類の作付面積及び収穫量の推移

- キャベツ・ハクサイ；近年、栽培面積、収穫量ともに微減傾向である。
- ほうれんそう・ねぎ；近年、栽培面積は横ばいである。
- たまねぎ・レタス；栽培面積の減少が続いていたが、その傾向は近年鈍化している。

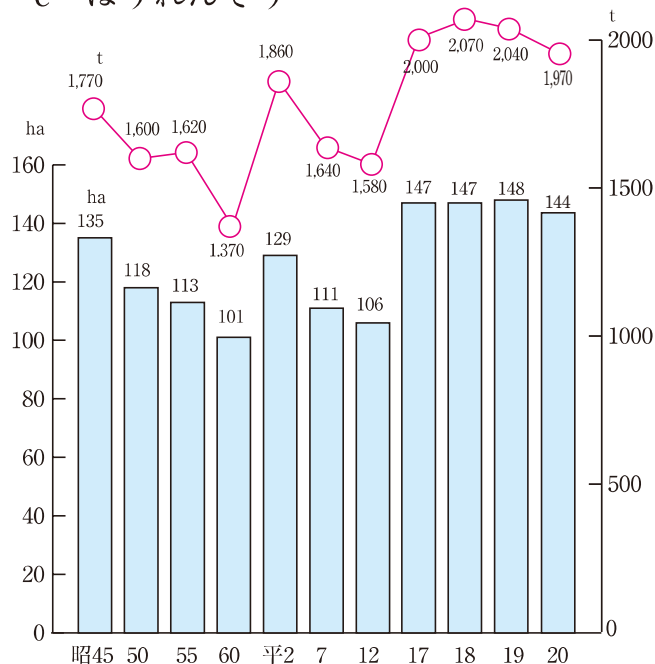
a キャベツ



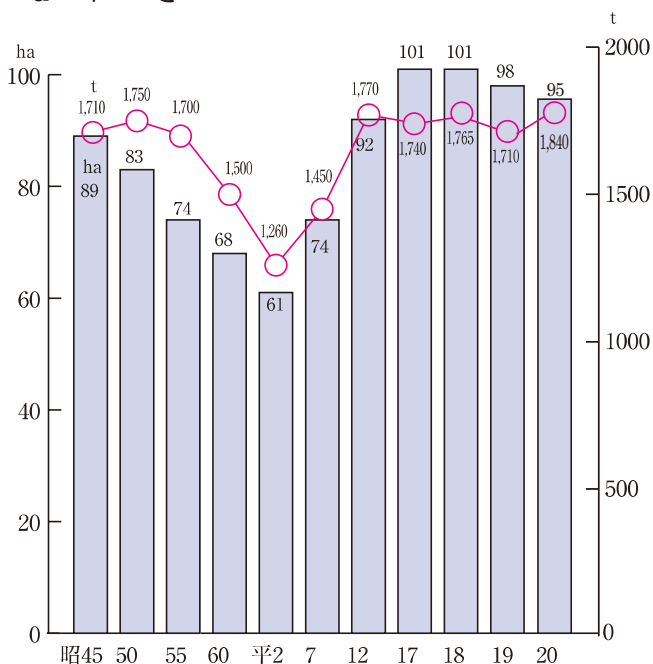
b はくさい



c ほうれんそう



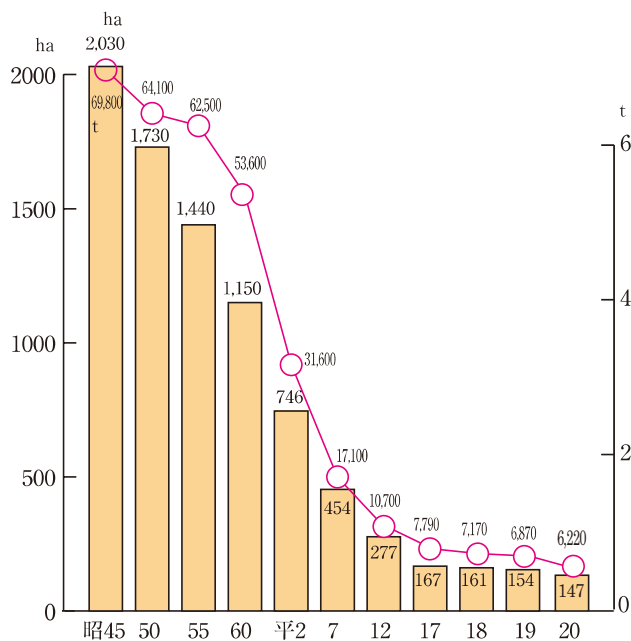
d ねぎ



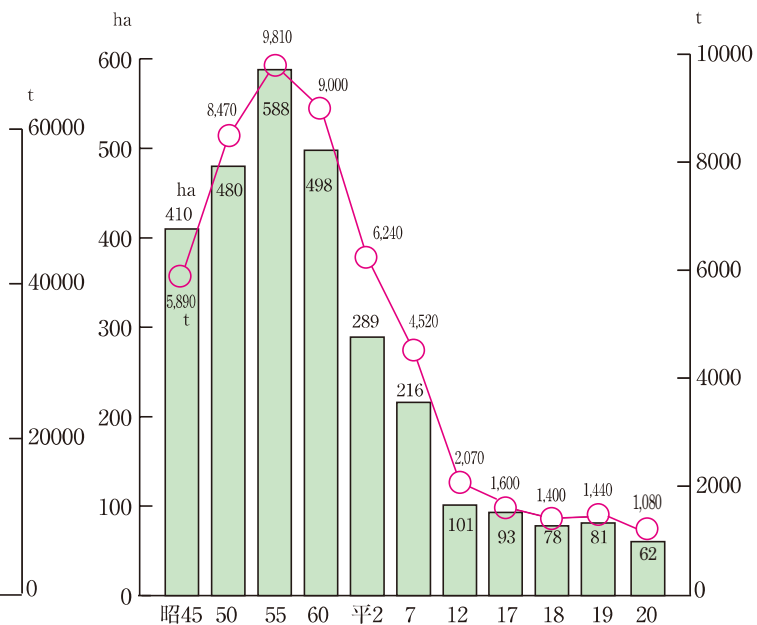
 作付面積 (ha)
  収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

e たまねぎ



f レタス



(農林水産統計年報)

□ 作付面積 (ha) ○— 収穫量 (t)

市町村別・葉茎菜類の作付面積 (平20)

キャベツ (253ha)	和歌山市				岩出市	紀の川市	御坊市	その他
	171ha				18ha	14ha	13ha	37ha
	67.6%				7.1%	5.5%	5.1%	14.6%

はくさい (174ha)	和歌山市				岩出市	御坊市	紀の川市	その他
	86ha				19ha	16ha	14ha	39ha
	49.4%				10.9%	9.2%	8.0%	23.0%

たまねぎ (147ha)	紀の川市				岩出市	和歌山市	かつらぎ町	その他
	91ha				8ha	8ha	8ha	32ha
	61.9%				5.4%	5.4%	5.4%	21.9%

冬レタス (62ha)	御坊市	白浜町	和歌山市	日高川町	上富田町	その他
	19ha	13ha	9ha	4ha	4ha	13ha
	30.6%	21.0%	14.4%	6.5%	6.5%	21.0%

0 50 100

(市町村別統計検討協議会調べ)

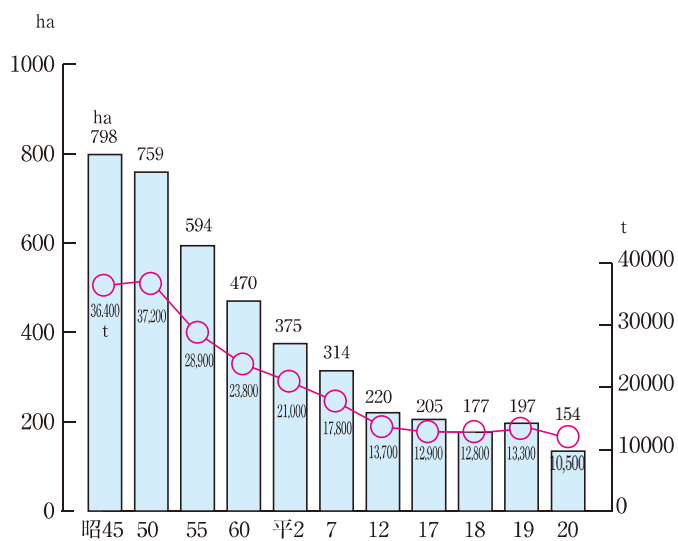
作付面積 (葉茎菜類)					(ha)		
〔平20〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
キ ャ ベ ツ	33,100	253	31	0.8	愛 知	群 馬	千 葉
は く さ い	18,600	174	30	0.9	茨 城	長 野	北 海 道
ほうれんそう	22,500	144	35	0.6	千 葉	埼 玉	群 馬
ね ぎ	23,000	95	45	0.4	千 葉	埼 玉	茨 城
た ま ね ぎ	24,100	147	23	0.6	北 海 道	佐 賀	兵 庫
レ タ ス	20,800	62	30	0.3	長 野	茨 城	兵 庫

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

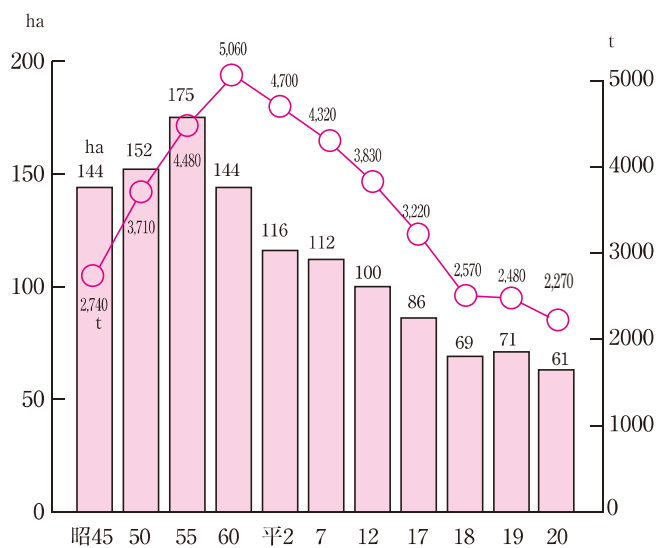
根菜類及び豆類の作付面積と収穫量の推移

- だいこん・にんじん・さといも・えんどう：栽培面積の減少が続いていたが、その傾向は近年やや鈍化している。

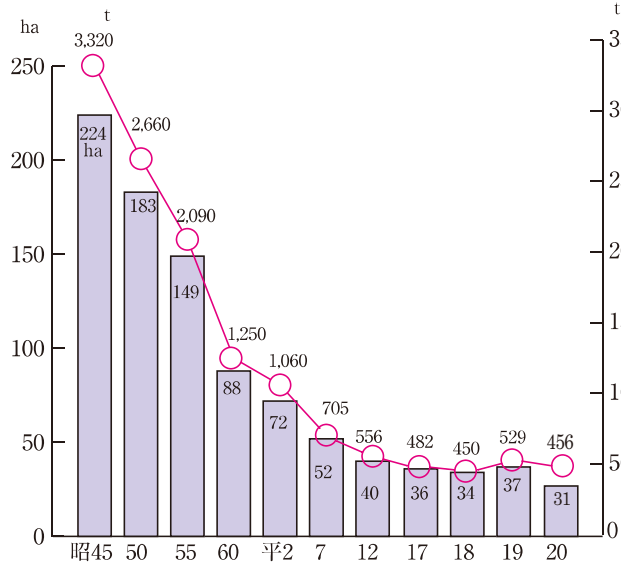
a だいこん



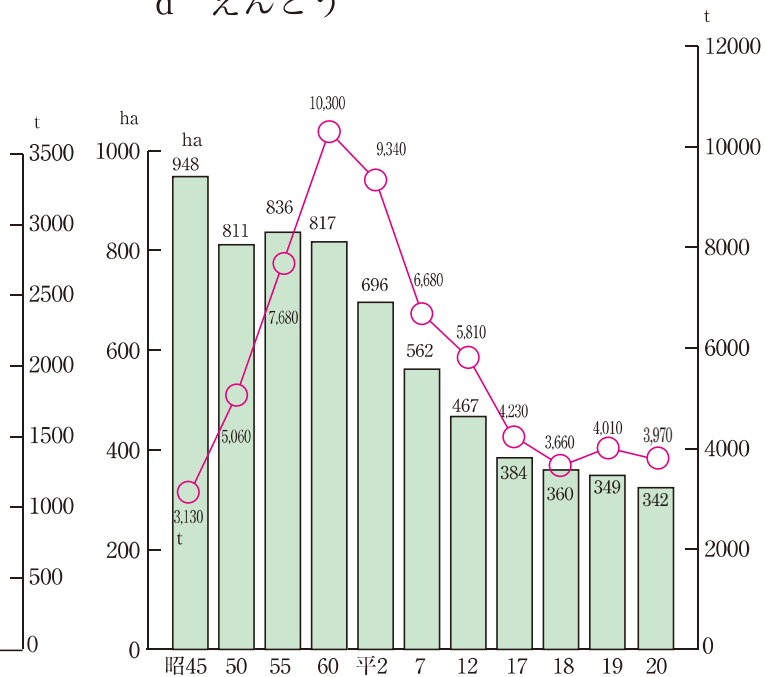
b にんじん



c さといも



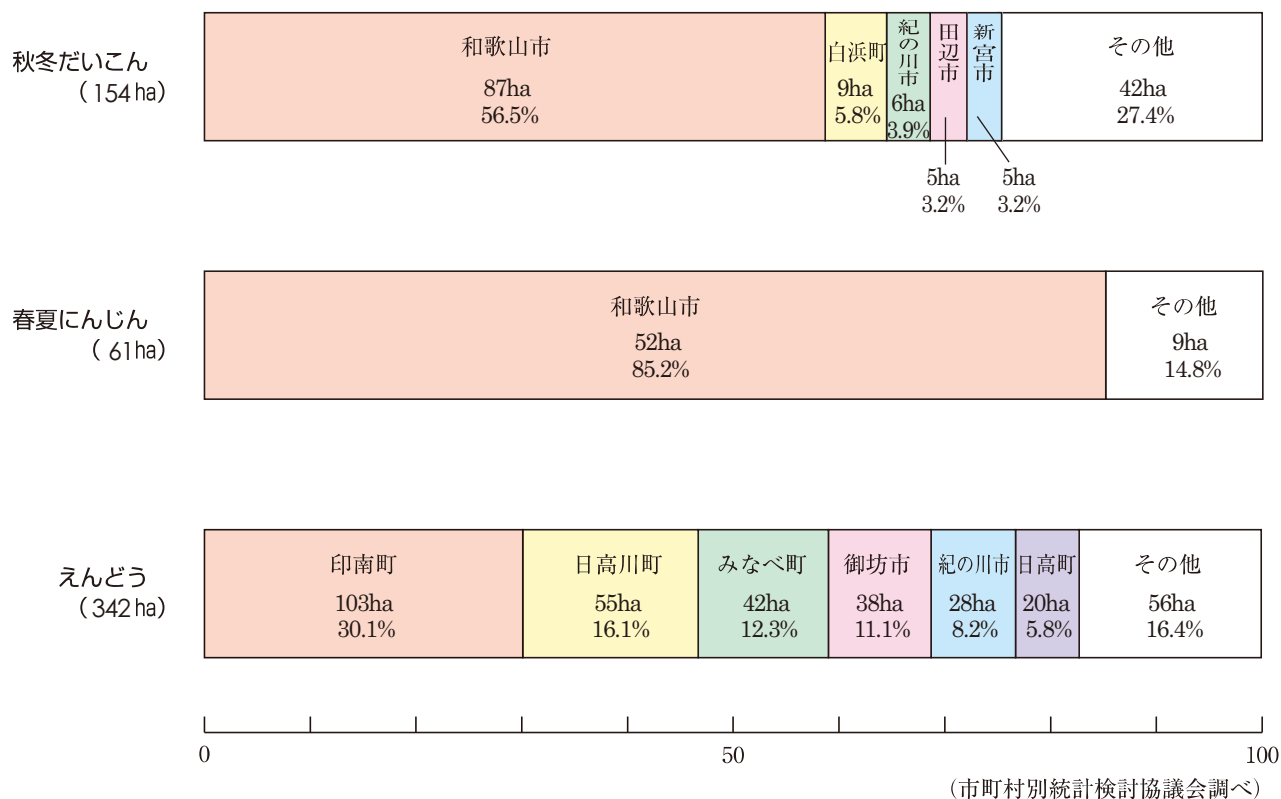
d えんどう



 作付面積 (ha)
  収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

市町村別・根菜類及び豆類の作付面積（平20）



作 付 面 積 (根菜類・豆類)							
[平20]	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
だ い こ ん	36,600	154	42	0.4	北海道	青 森	千 葉
に ん じ ん	19,200	71	34	0.3	北海道	千 葉	青 森
さ と い も	14,000	31	44	0.2	千 葉	宮 崎	鹿 児 島
え ん ど う	4,310	342	3	8.0	鹿 児 島	福 島	和 歌 山

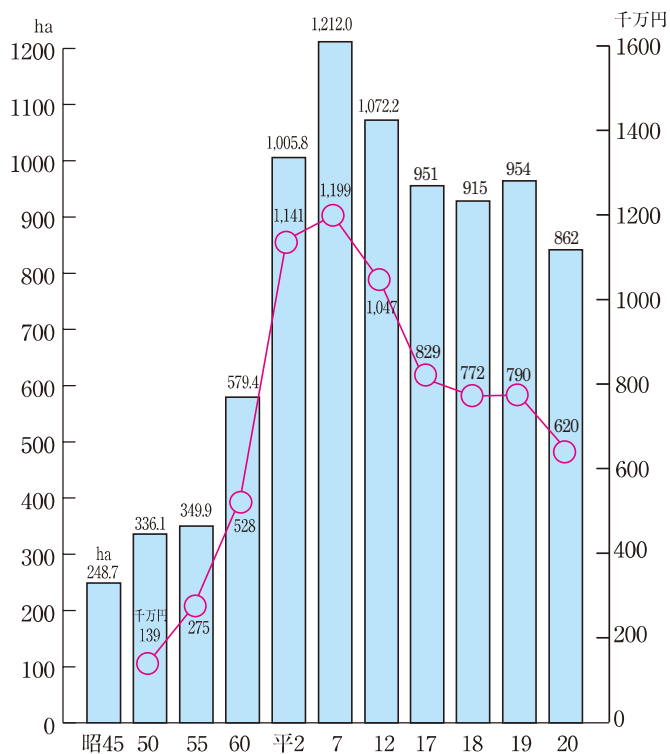
※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

(野菜生産出荷統計)

花き生産の推移

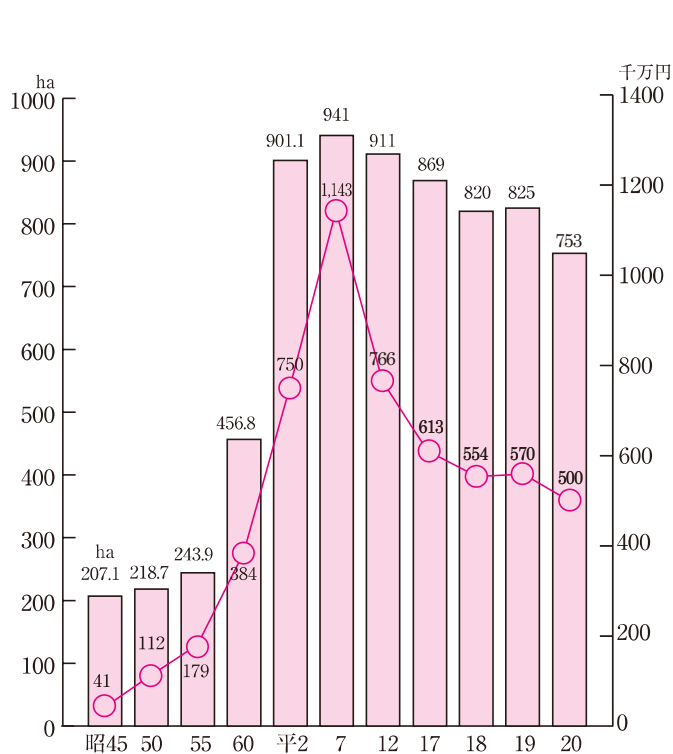
花き全体の栽培面積は昭和60年から平成2年にかけ需要の増加や野菜からの転換により急激に増加している。その後の推移は平成6年をピークに微減となっている。

総 計

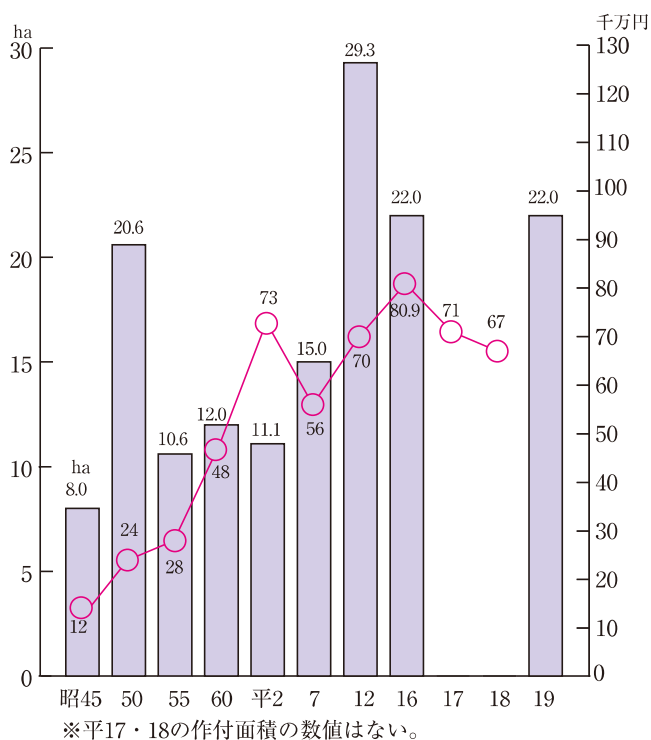


※農林水産統計年報値に花木等生産状況調査値（花木類、地被植物類）を合算

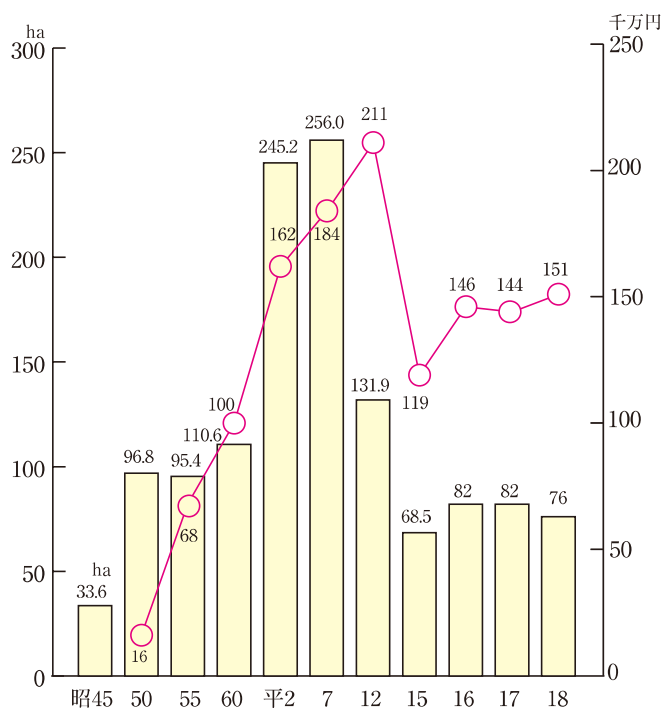
b 切 花



c 鉢物・花壇苗



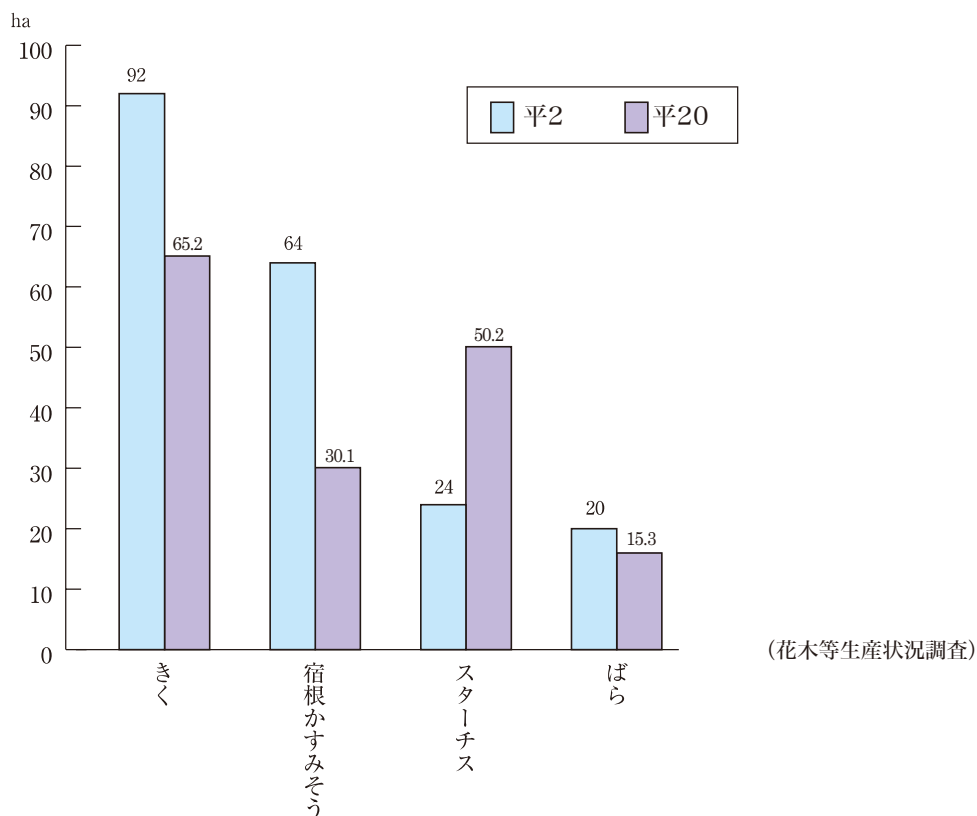
d 花木類等



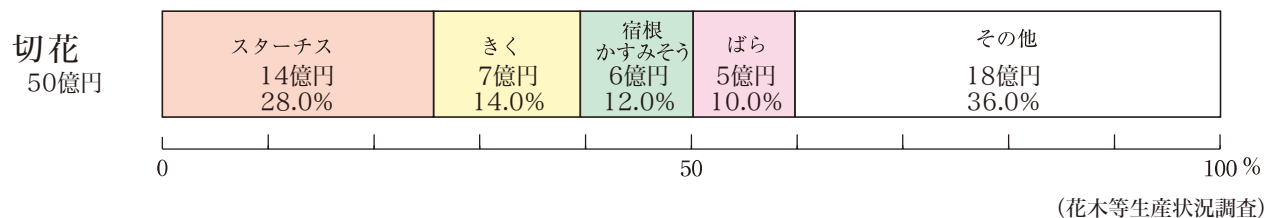
(農林水産統計年報、花木等生産状況調査)

 作付面積 (ha)
  生産額 (千万円)

主要切花の作付面積



切花生産額の品目別割合 (平20)



産 出 額 (花 き)							
(億円)							
〔平20〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
ス タ ー チ ス	43	14	2	32.6	北海道	和歌山	長 野
宿根かすみそう	35	6	2	17.1	熊 本	和歌山	福 島

(花木等生産状況調査)

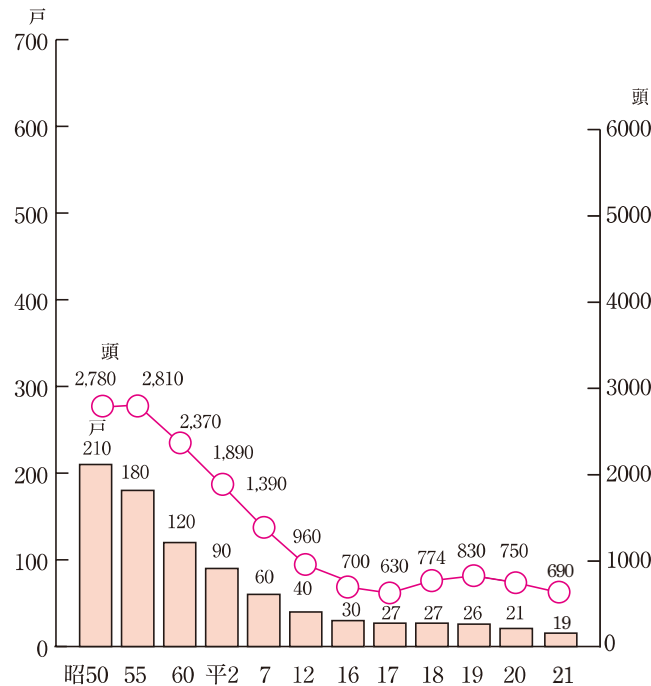
家畜の飼養戸数及び飼養頭羽数の推移

畜産農家数はすべての部門で前年に比べ減少している。

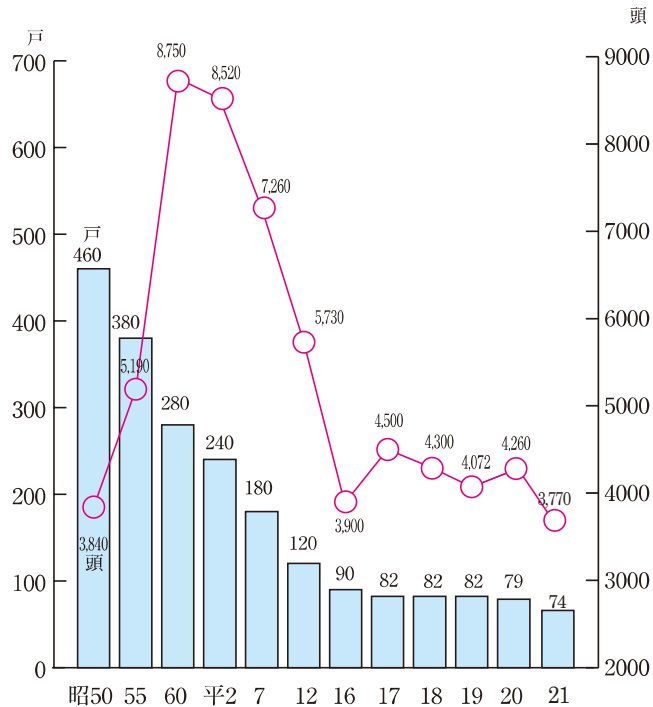
飼養頭羽数はすべての部門で年々減少傾向にあるが、昭和50年代と比べ1戸当たりの飼養頭羽数は大幅に増加しており、すべての部門で経営の大規模化が図られている。

(採卵鶏の農家戸数は平成元年より300羽以上のみ、平成9年より1,000羽以上のみ、平成14年より種鶏農家除く。)

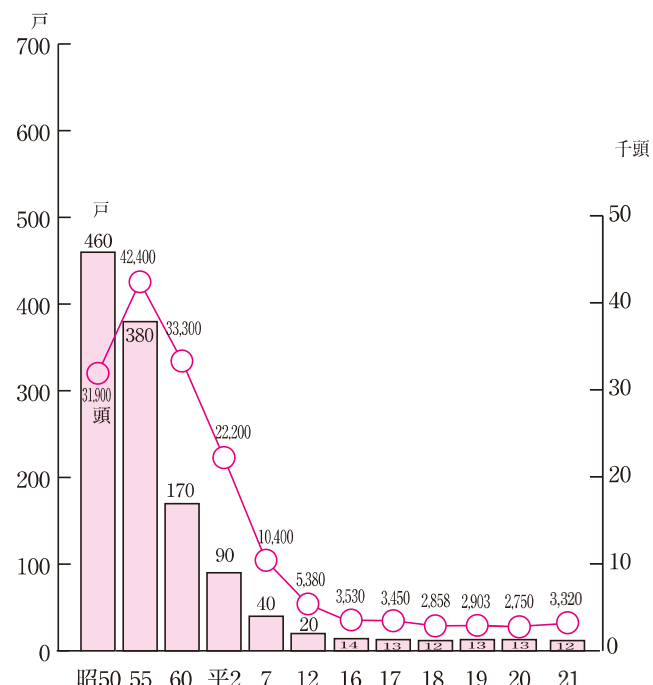
a 乳用牛



b 肉用牛



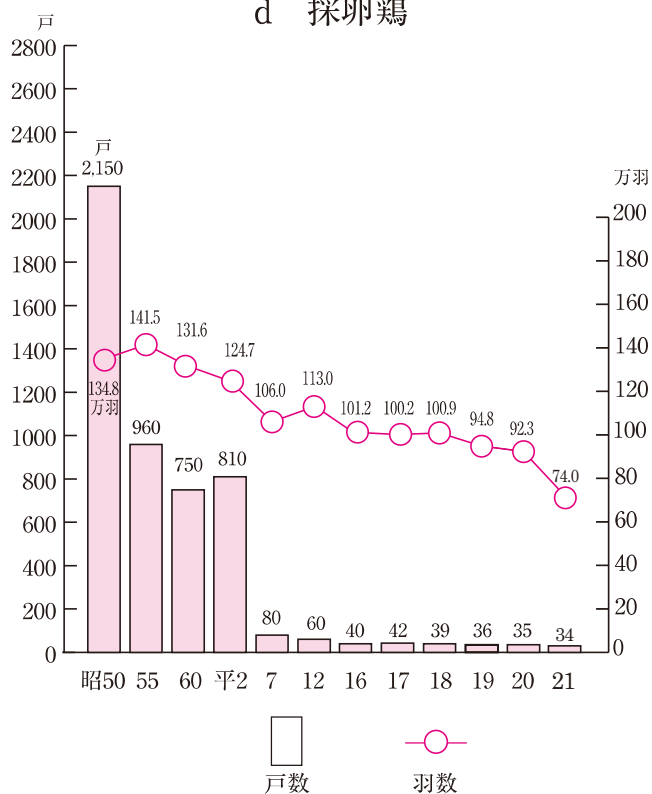
c 豚



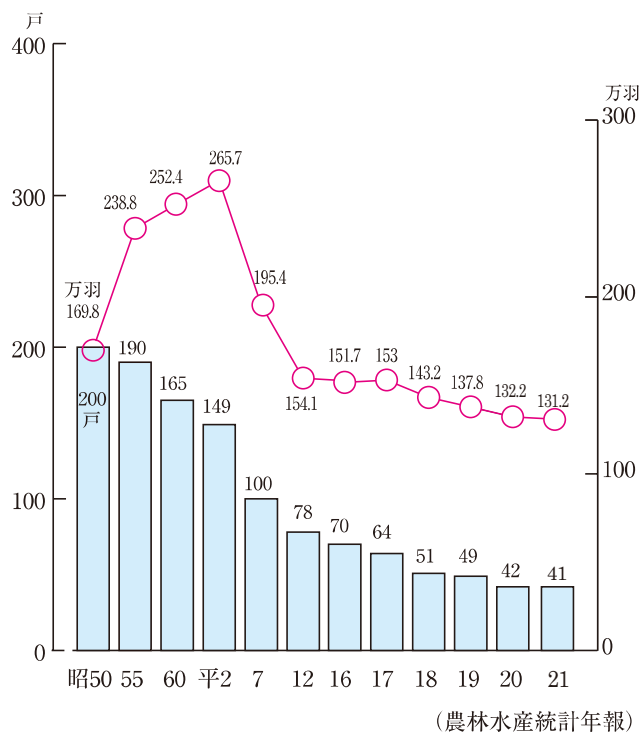
戸数 頭数

(農林水産統計年報)

d 採卵鶏



e ブロイラー



(農林水産統計年報)

市町村別・家畜飼養頭羽数 (平21)

乳用牛 (690 頭)	古座川町 259頭 37.5%	紀の川市 84頭 12.2%	海南市 84頭 12.2%	その他 263頭 38.1%
肉用牛 (3,770 頭)	日高川町 763頭 20.2%	紀の川市 496頭 13.2%	和歌山市 301頭 8.0%	那智勝浦町 301頭 8.0%
豚 (3,320 頭)	かつらぎ町 1,149頭 34.6%	和歌山市 1,083頭 32.6%	有田川町 488頭 14.7%	その他 600頭 18.1%
採卵鶏(成鶏めす) (659 千羽)	橋本市 324千羽 49.2%	紀の川市 105千羽 15.9%	有田川町 60千羽 9.1%	その他 170千羽 25.8%

(県畜産課業務資料)

家畜の飼養頭羽数・戸数

〔平 21.2.1 現在〕		和歌山県				1 位	2 位	3 位
		全 国 実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
飼養頭羽数	乳用牛(頭)	1,500,000	690	47	0.1	北海道	栃 木	岩 手
	肉用牛(頭)	2,923,000	3,770	44	0.1	北海道	鹿児島	宮 崎
	豚 (頭)	9,899,000	3,320	47	0.1	鹿児島	宮 崎	茨 城
	採卵鶏(千羽)	178,208	740	39	0.4	茨 城	千 葉	愛 知
飼養戸数(戸)	乳 用 牛	23,100	19	47	0.1	北海道	岩 手	千 葉
	肉 用 牛	77,300	74	42	0.1	鹿児島	宮 崎	岩 手
	豚	6,890	12	45	0.2	鹿児島	宮 崎	茨 城
	採 卵 鶏	3,110	34	31	1.1	愛 知	千 葉	鹿児島

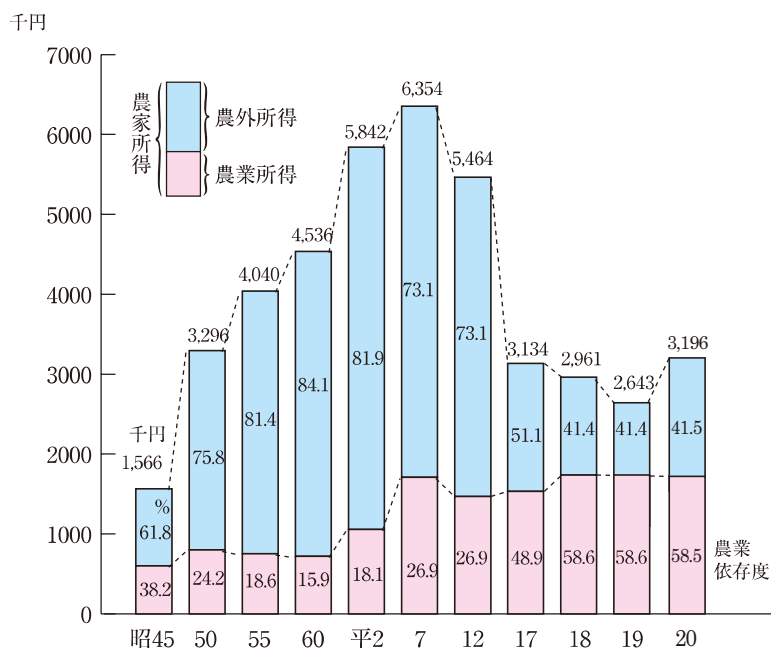
5) 農業所得と農業産出額

農業産出額はピークの平成3年で1,737億円となり、昭和45年に比べ3.0倍となっている。しかし、平成11年以降ピーク時の60～70%程度の産出額で推移している。

また、生産農業所得も同様の傾向で平成20年は417億円となり、農家所得の推移も平成8年をピークに減少傾向にある。

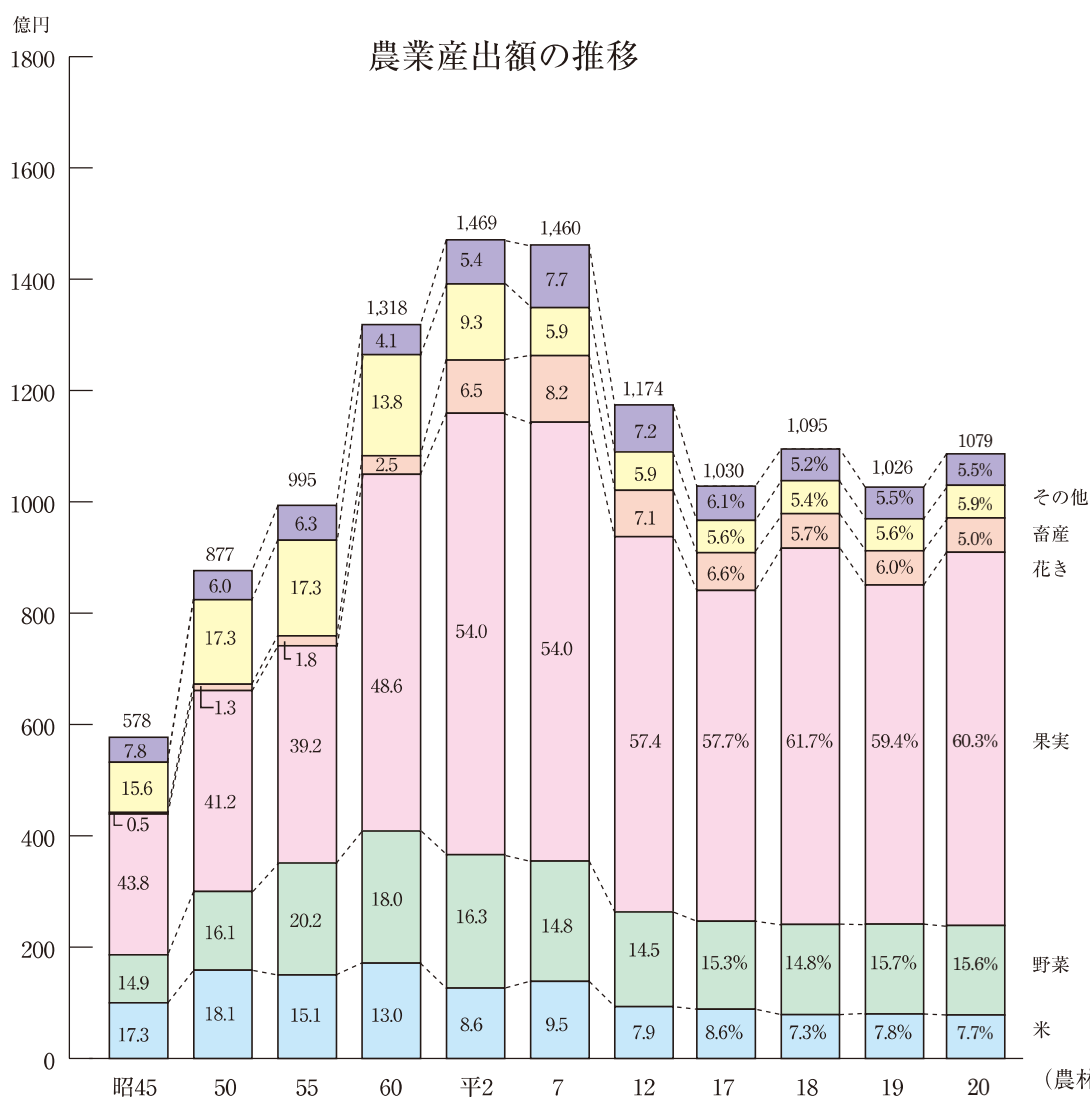
※本調査は、平成16年より調査対象及び調査内容が変更されていますので、ご利用の際はご注意ください。

農家所得の推移



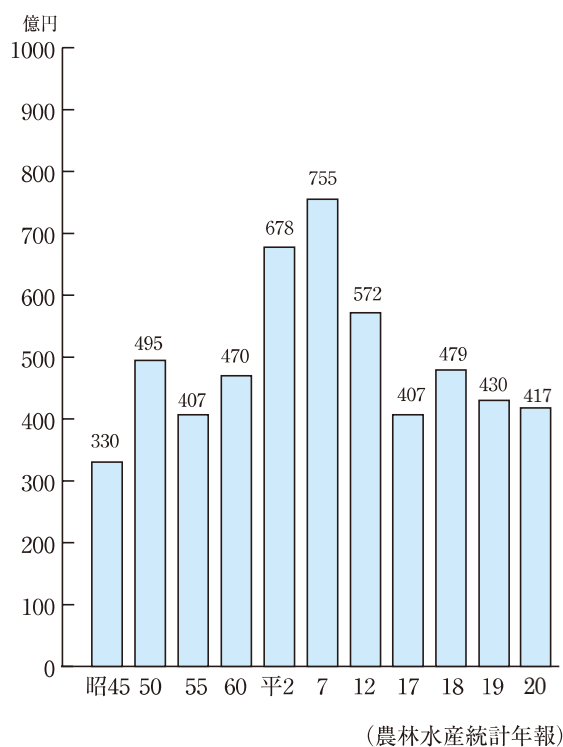
(農林水産統計年報)

農業産出額の推移

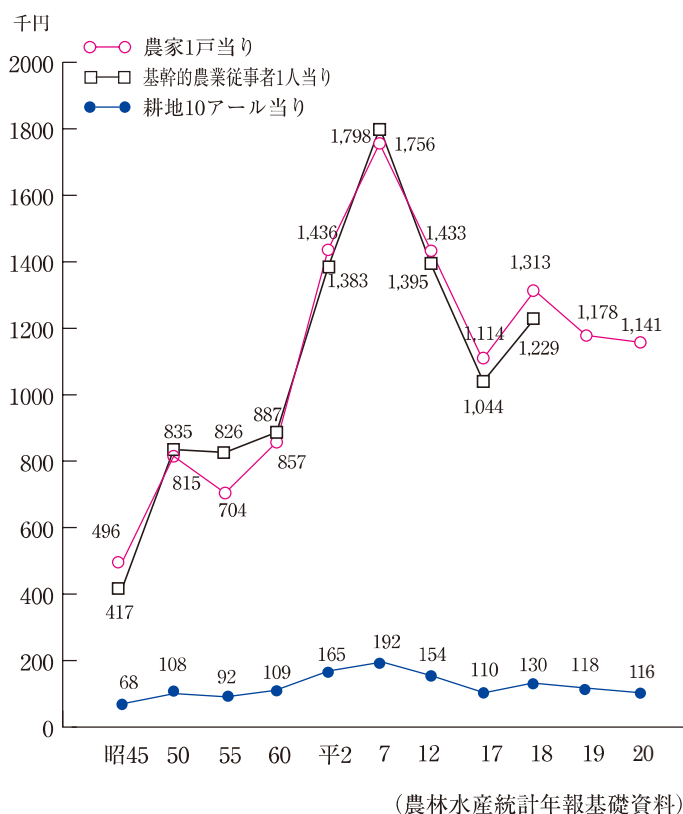


(農林水産統計年報)

生産農業所得（県計）の推移



生産農業所得（単位当り）の推移



※平成19年、20年の基幹的農業従事者1人当たりの
生産農業所得数値は未公表

市町村別・部門別農業産出額（平20）

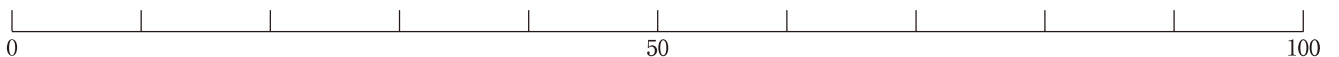
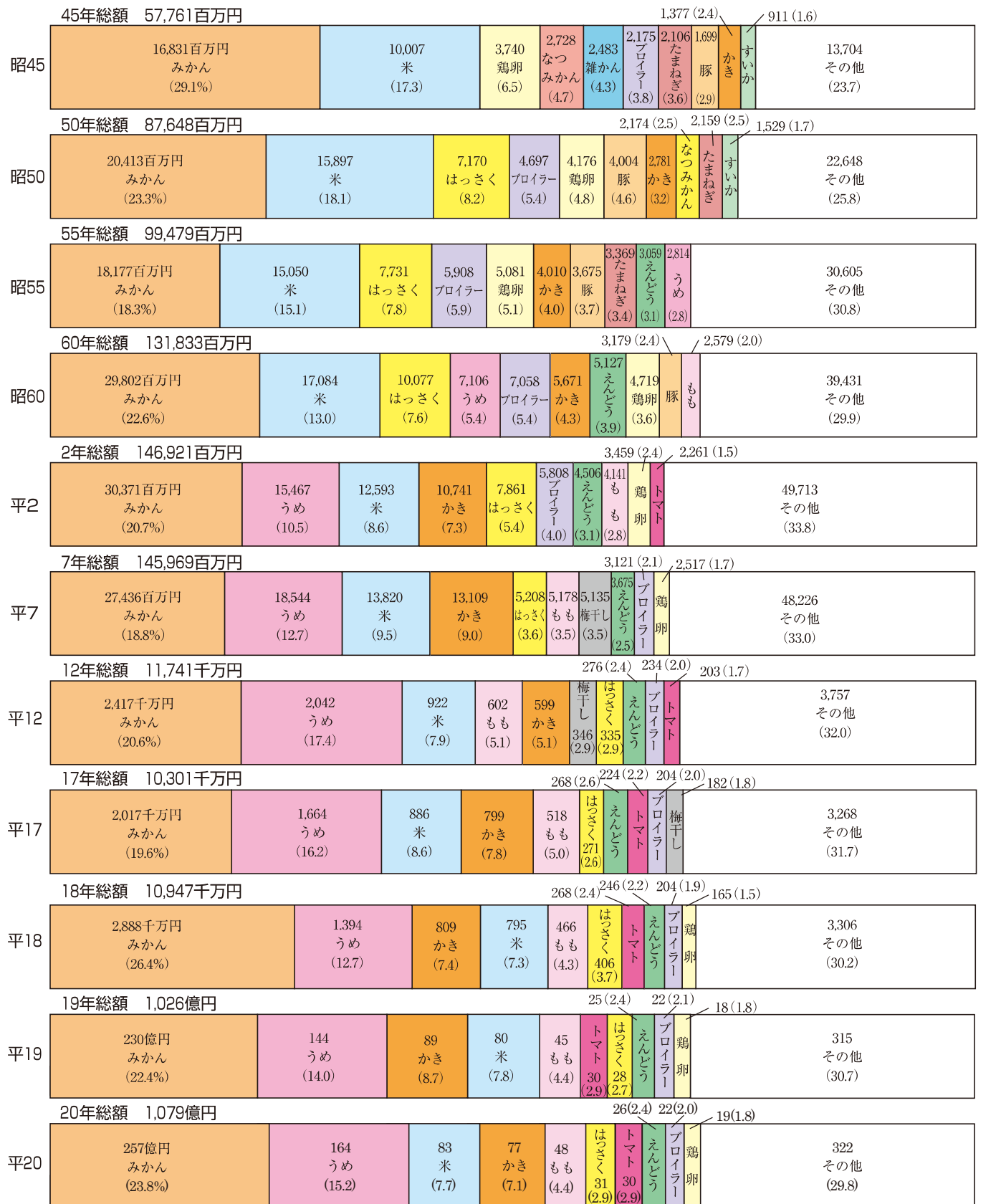
米 (833千万円)	和歌山市 197ha 23.6%	紀の川市 109ha 13.1%	橋本市 52ha 6.2%	岩出市 43ha 5.2%	御坊市 42ha 5.0%	田辺市 42ha 5.0%	その他 348ha 41.3%
野菜 (1,677千万円)	和歌山市 464ha 27.7%	紀の川市 240ha 14.3%	印南町 200ha 11.9%	御坊市 142ha 8.5%	日高川町 78ha 4.7%	その他 553ha 33.0%	
果実 (6,508千万円)	紀の川市 1,170ha 18.0%	有田川町 910ha 14.0%	田辺市 745ha 11.4%	みなべ町 725ha 11.1%	海南市 590ha 9.3%	その他 3,368ha 36.4%	
花き (545千万円)	御坊市 189ha 34.7%	印南町 73ha 13.4%	紀の川市 71ha 13.0%	有田川町 41ha 7.5%	田辺市 27ha 5.0%	その他 144ha 26.4%	

0 50 100

(市町村別統計検討協議会調べ)

農産物産出額上位10品目の推移

農産物生産額を品目別にみると、「うめ」と「みかん」で全体の約39%を占めており、平成20年は1位みかん、2位うめ、3位米、4位かき、5位ももとなっている。



6) 農業農村整備事業の基盤整備状況

農業農村整備事業における基盤の整備状況は、畑の農道整備48.6%、かんがい施設整備29.9%、区画整理6.1%で田の区画整理は14.6%となっている。整備済みの農業水利施設については、本格的な保全対策を進めています。

1 畑（果樹園・普通畑）の整備状況

項目 \ 年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19
畑 面 積 (ha)	24,500	24,700	25,200	25,400	25,300	25,100
農 道 整 備 済 面 積 (ha)	11,937	11,936	12,164	12,167	12,175	12,204
整 備 率 (%)	48.7	48.3	48.3	47.9	48.1	48.6
畑地かんがい施設整備済み面積 (ha)	7,269	7,269	7,499	7,495	7,501	7,501
整 備 率 (%)	29.7	29.4	29.8	29.5	29.6	29.9
区 画 整 理 済 面 積 (ha)	1,511	1,513	1,516	1,516	1,516	1,520
整 備 率 (%)	6.2	6.1	6.0	6.0	6.0	6.1

- ・農道整備済みとは、末端農道が整備された畑
- ・畑地かんがい施設整備済みとは、スプリンクラー等の施設が整備されている畑、及び、水源が確保され必要に応じて散水が可能な畑
- ・区画整理には、農地造成を含む

2 田の整備状況

項目 \ 年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19
田 面 積 (ha)	11,900	11,800	11,700	11,400	11,200	10,900
区 画 整 理 済 面 積 (ha)	1,495	1,540	1,554	1,588	1,588	1,588
整 備 率 (%)	12.6	13.1	13.3	13.9	14.2	14.6

- ・区画整理には、30a未満の小区画を含む。

3 土地改良施設の整備状況

項目 \ 年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19
農 業 水 利 施 設 延 長 (km)	—	—	—	682	682	682
保全対策済み延長	—	—	—	8	16	24
た め 池 の 箇 所 数	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566
整備済み箇所数	949	984	1,014	1,051	1,090	1,115
整 備 率 (%)	17.0	17.7	18.2	18.9	19.6	20.0
農業集落排水整備対象人口 (人)	65,195	67,102	64,019	63,388	62,742	61,878
整備済み人口	29,930	35,257	35,833	40,857	41,045	43,302
整 備 率 (%)	45.9	52.5	56.0	64.5	65.4	70.0
広域農道整備済み延長 (km)	61.9	64.6	64.6	64.6	65.8	66.9

- ・農業水利施設延長は、県営事業以上で造成された幹線施設延長
- ・広域農道の整備済み延長は供用開始済みの延長

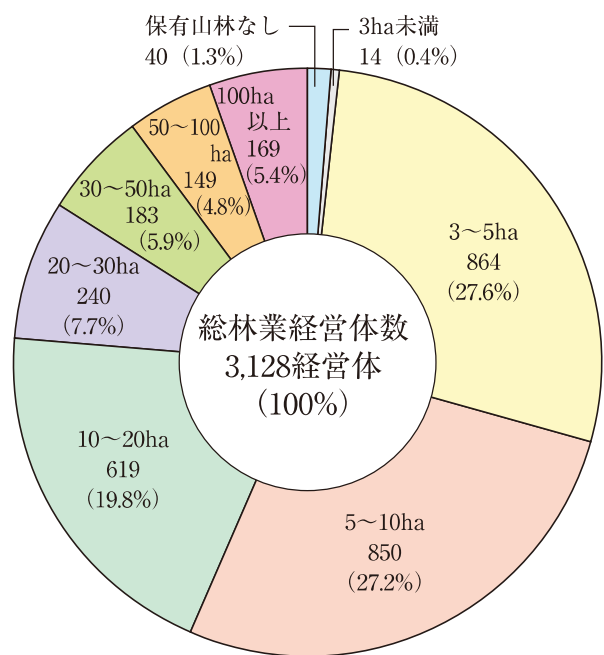
2 林業部門

1) 林業を担う経営体（林業経営体）

本県の林業経営体数は、3,128経営体となっており、保有山林規模別では、10ha以下の経営体が総数の57%を占め、規模の小さな経営体が多い。

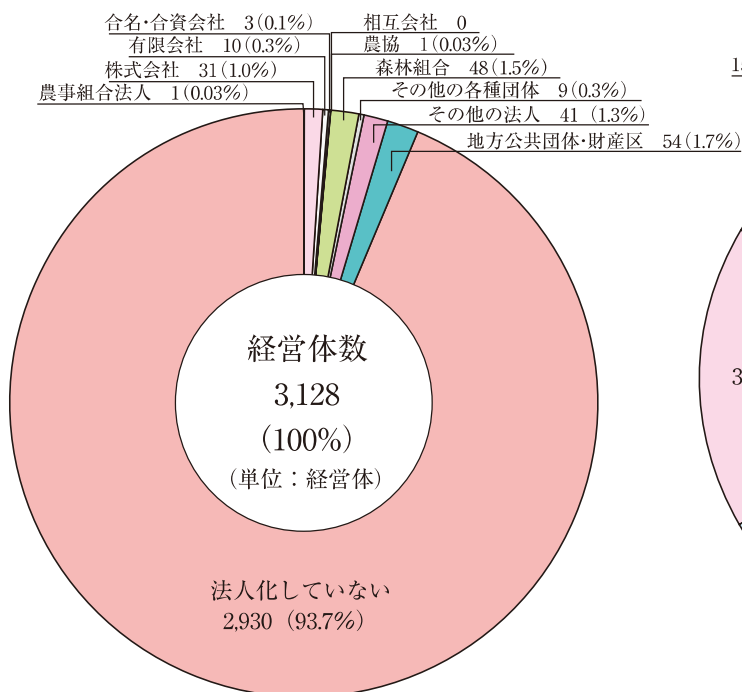
また、組織形態別では、法人化していない経営体が94%を占めている。家族経営における林業従事日数150日以上に従事者は6%と少ない。

保有山林規模別林業経営体数



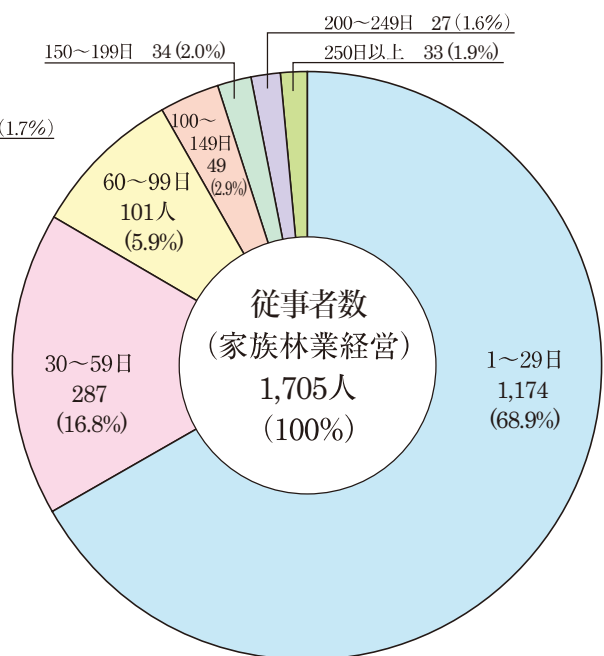
(2005年農林業センサス)

組織形態別経営体数 (平17)



(2005年農林業センサス)

日数別従事者数 (平17)



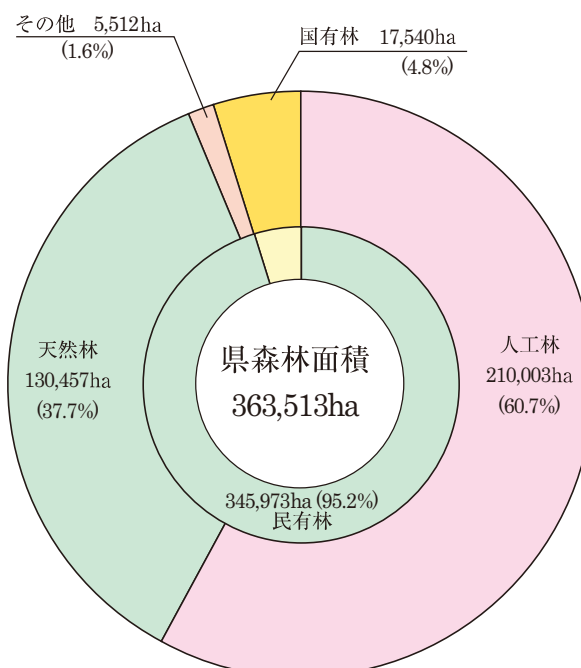
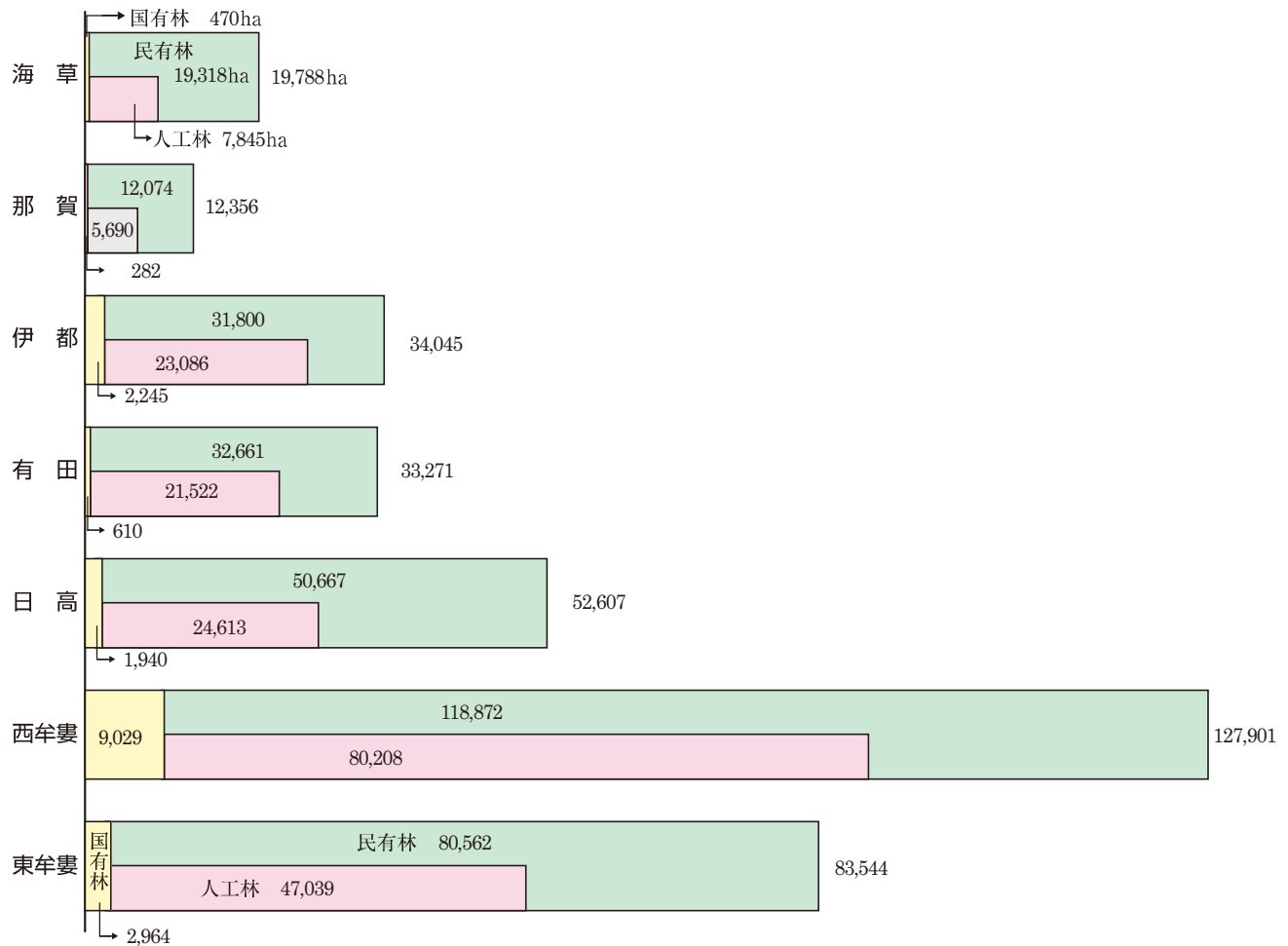
(2005年農林業センサス)

林業経営体数						
〔平17〕	全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位
	実 数	実数	順位	シェア (%)	県名	県名
林 業 経 営 体 数	200,224	3,128	29	1.6	北海道	岩 手 岐 阜

2) 森林資源・林業生産基盤

郡別・森林面積（平21.4.1現在）

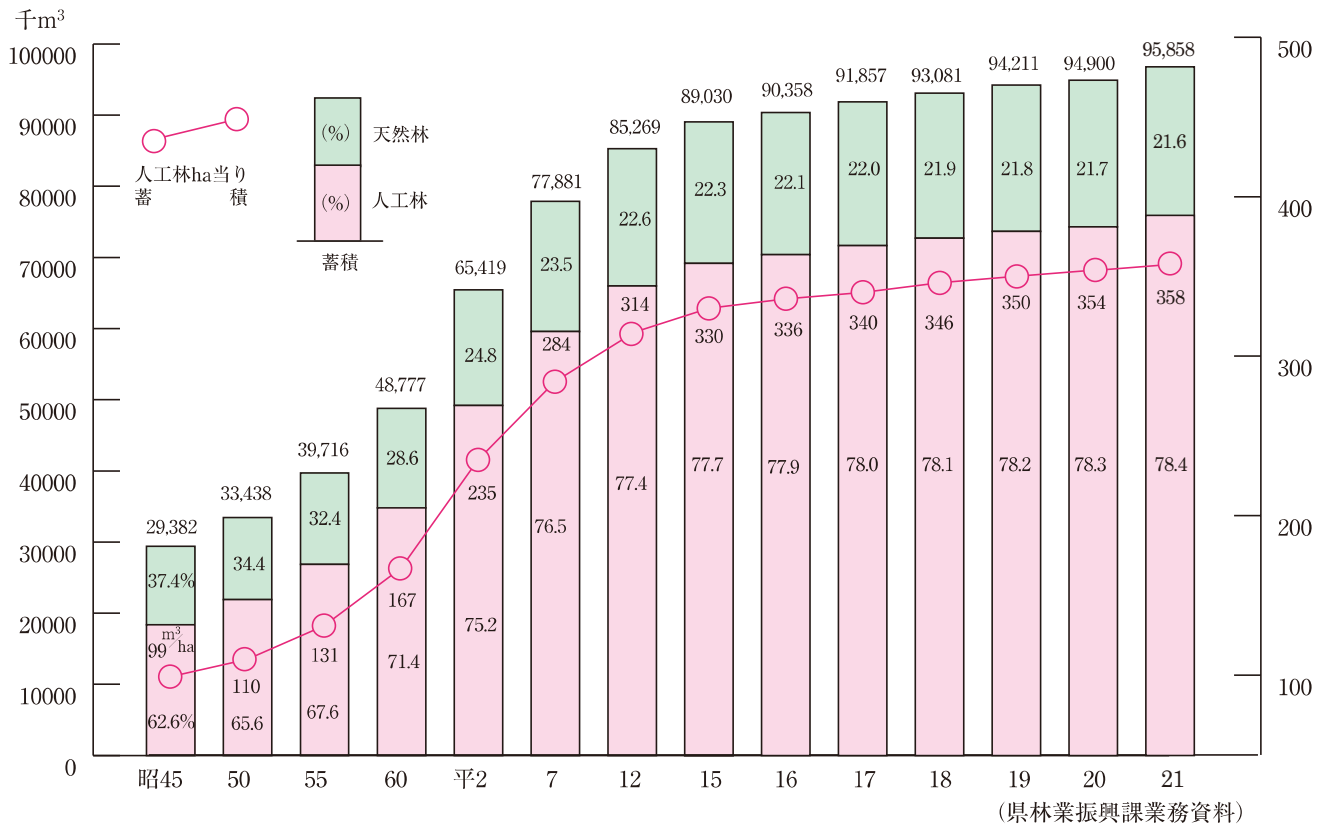
県の森林面積363,513haのうち、国有林は4.8%、民有林は95.2%で、民有林のうち、人工林は60.8%である。



(県林業振興課業務資料)

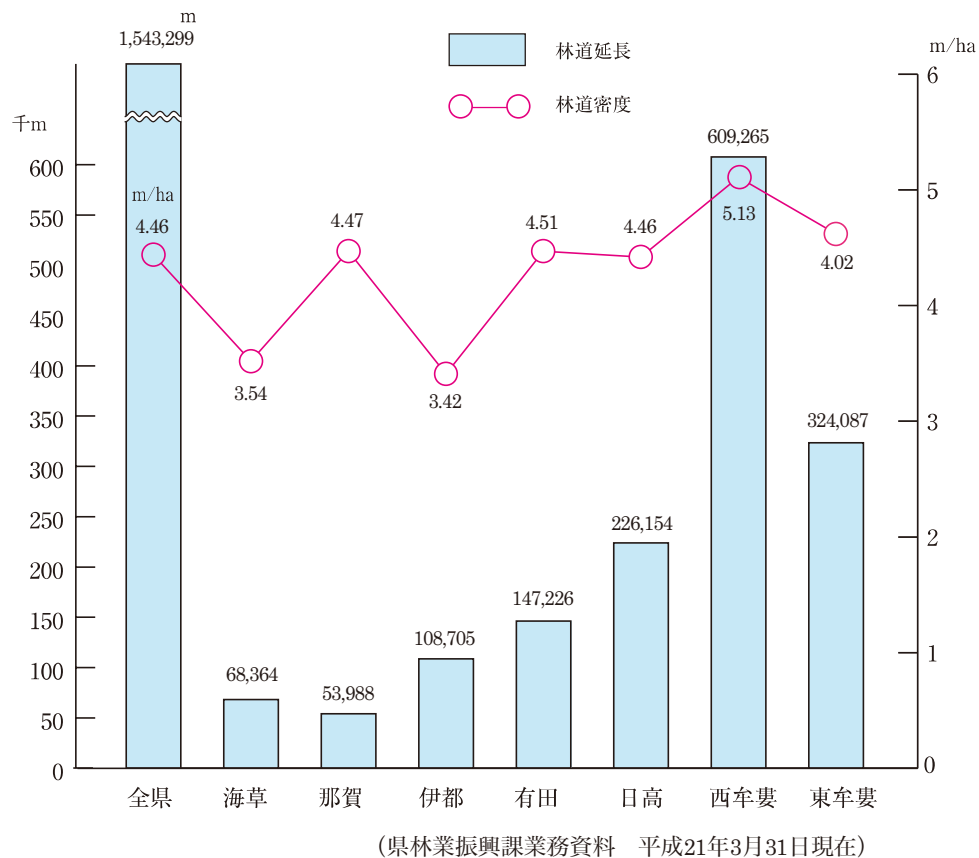
森林資源（民有林蓄積）の推移（地域森林計画対象森林：345,411ha）

戦後植林された森林資源が成熟しつつある。



郡別民有林林道延長及び林道密度（平21.3.31現在）

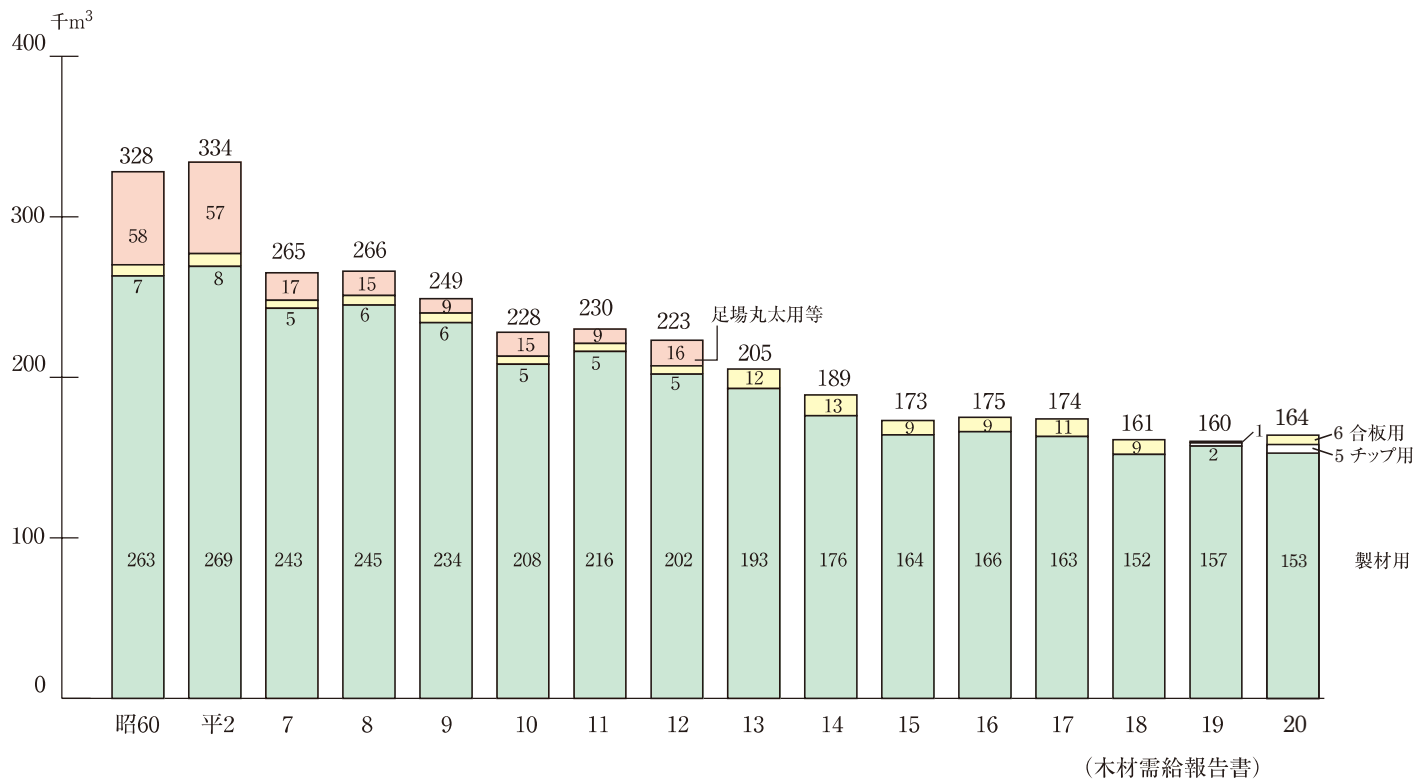
生産コストの縮減をはかるため、林道密度を高める必要がある。



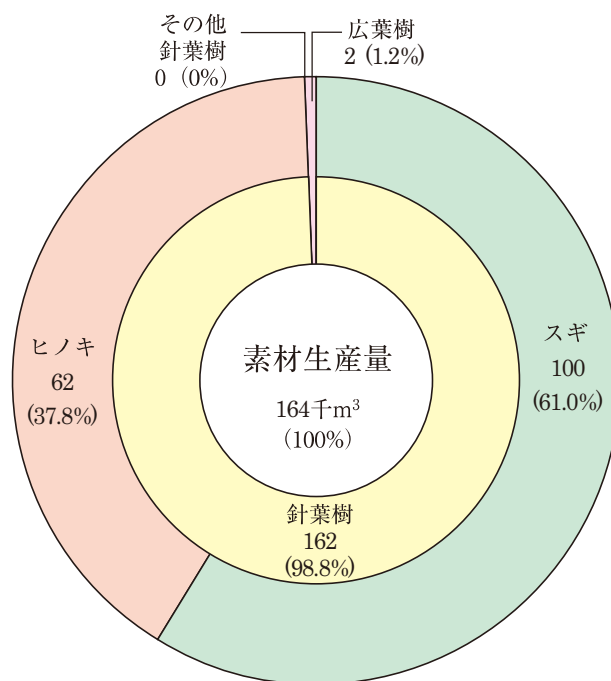
3) 林業生産

近年の木材生産活動は木材価格の低迷等から停滞している。
一方、最近では輸入製品価格の高騰などから、国産材の需要が高まりつつある。

用途別素材生産量の推移

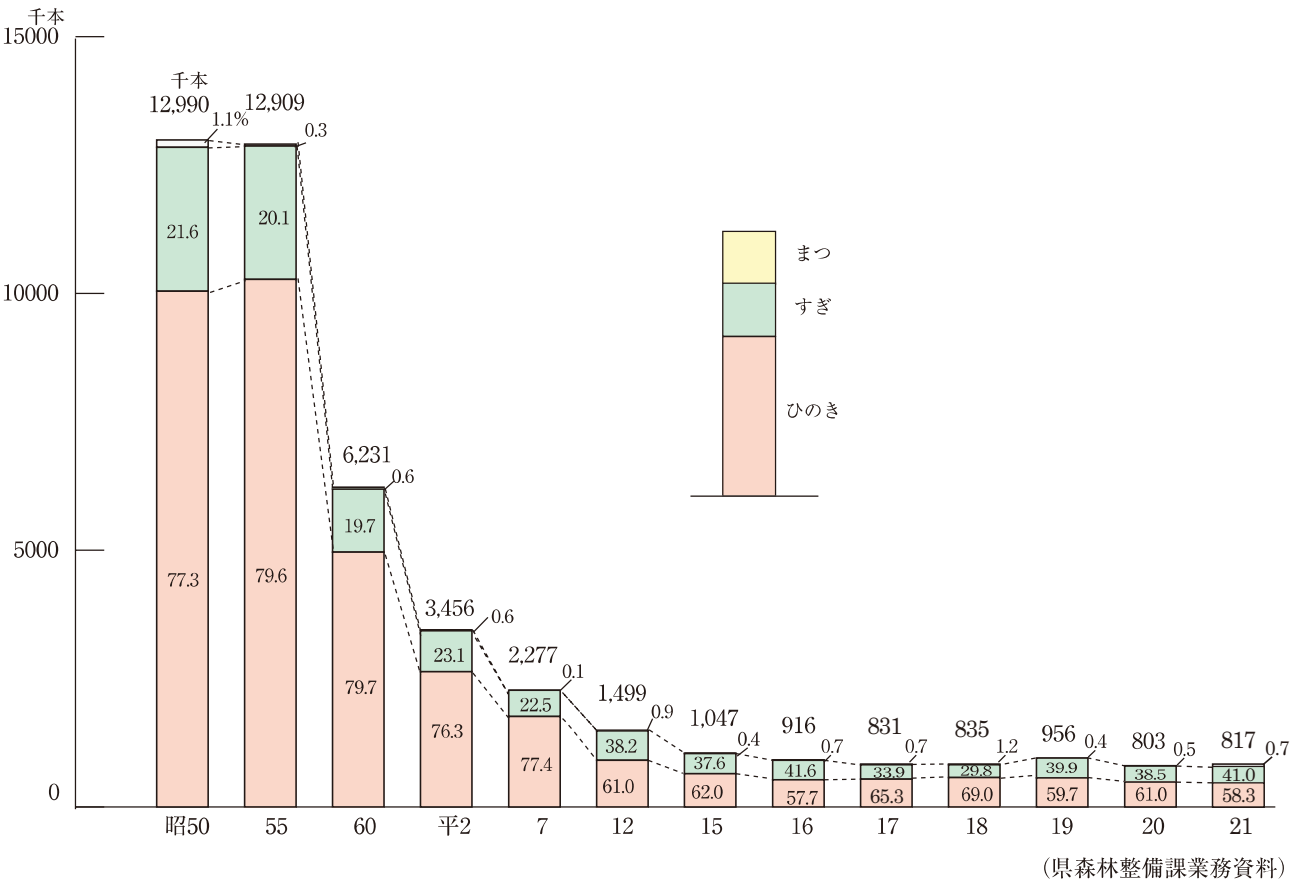


樹種別素材生産量（平20）



(木材需給報告書)

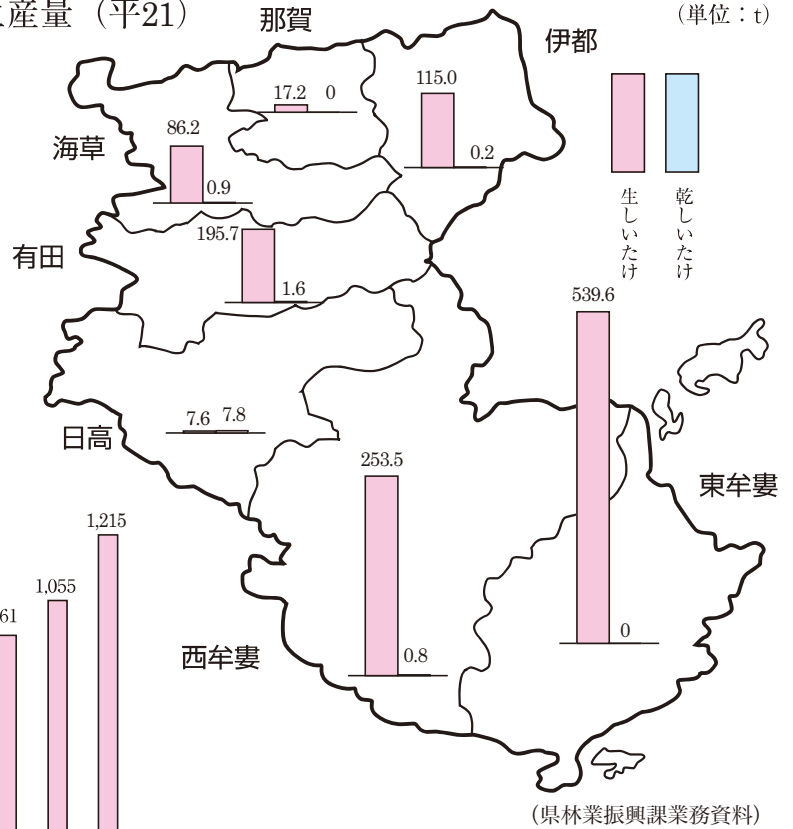
山用種苗生産本数の推移



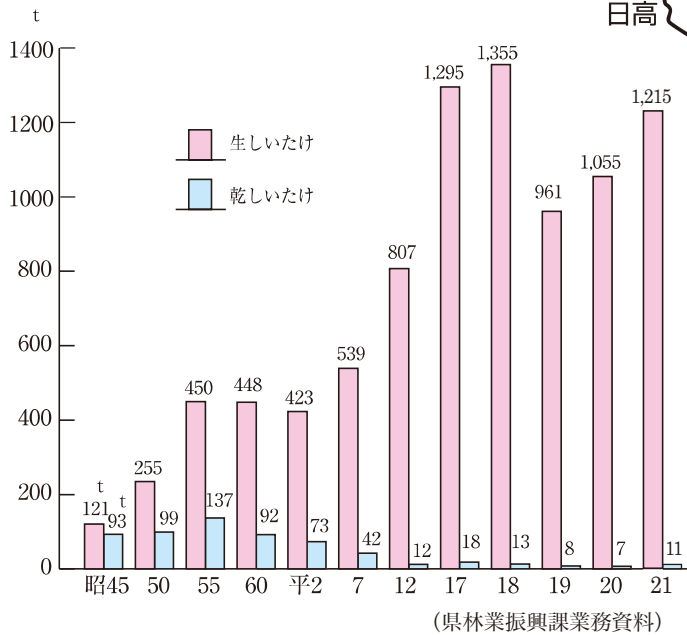
素 材 生 産 量								
〔平20〕		全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
		実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
素 材 生 産 量	合 計(千m³)	17,709	164	28	0.9	北海道	宮 崎	岩 手
	針 葉 樹	14,975	162	25	1.1	北海道	宮 崎	岩 手
	す ぎ	8,755	100	25	1.1	宮 崎	大 分	秋 田
	ひ の き	1,886	62	12	3.3	愛 媛	岡 山	熊 本
	広 葉 樹	2,734	2	43	0.1	北海道	岩 手	広 島

郡別・しいたけ生産量（平21）

（単位：t）

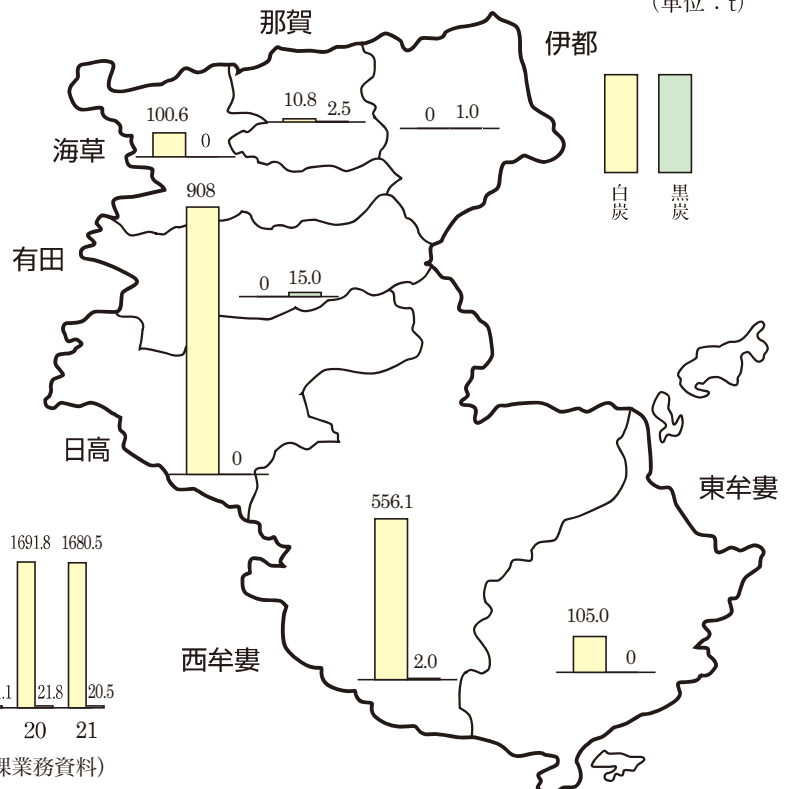


しいたけ生産量の推移

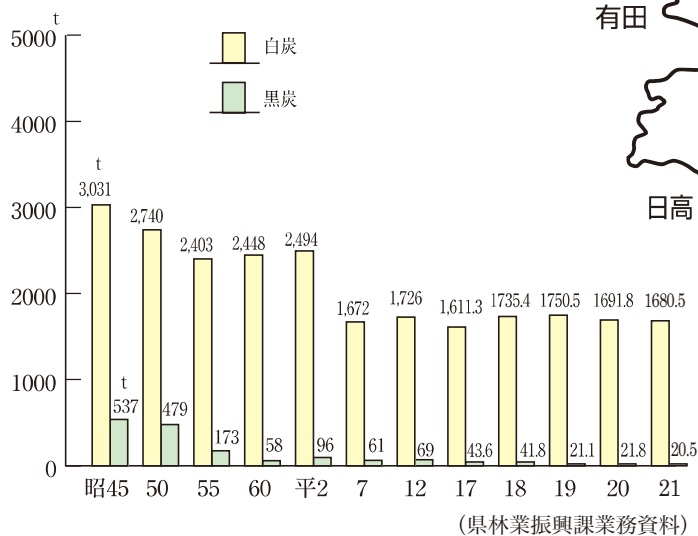


郡別・木炭生産量（平21）

（単位：t）

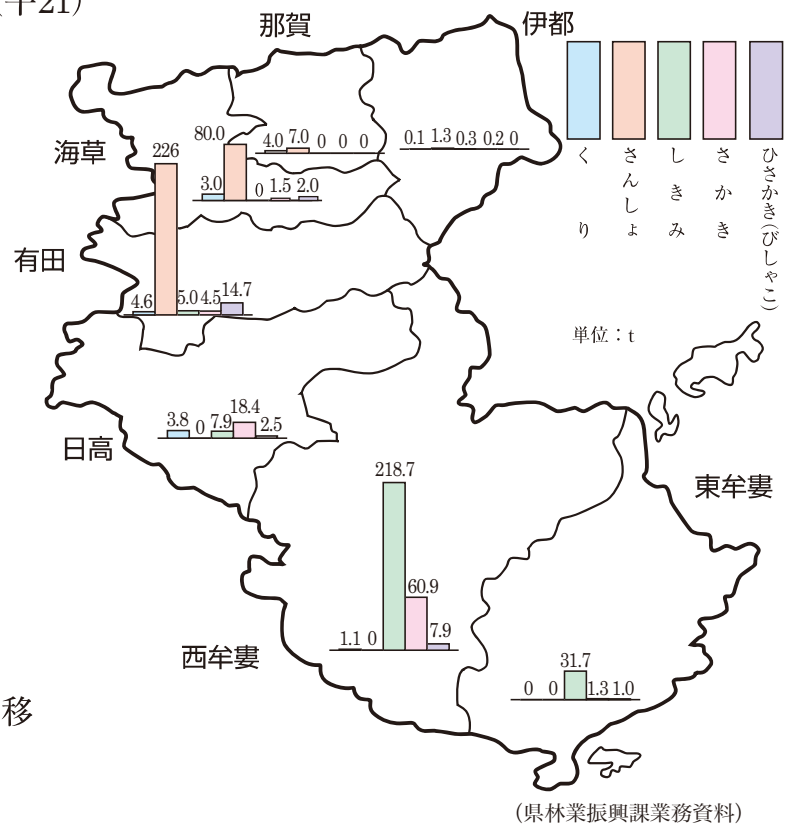


木炭生産量の推移

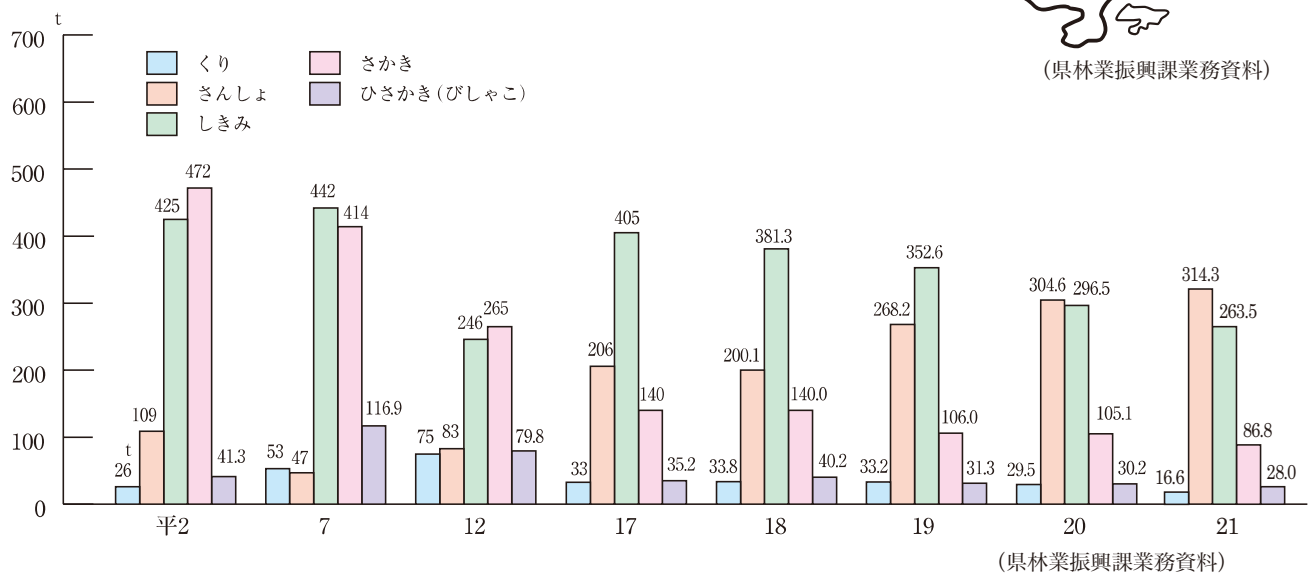


山村での主収入であった林業が低迷する中、副収入源であった特用林産物の収入に占める割合が増加してきた。

郡別・その他特用林産物生産量（平21）



その他の特用林産物生産量の推移

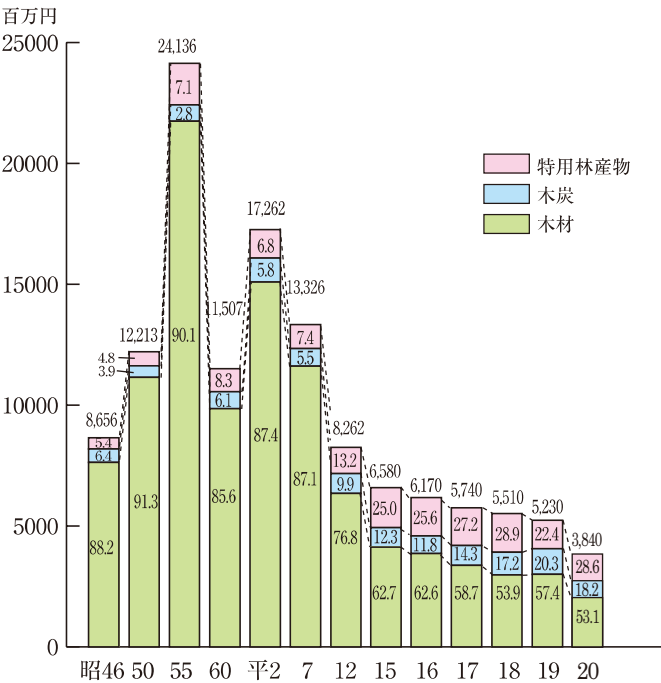


特 用 林 産 物 生 産 量							
〔平20〕 (t)	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
乾 しいたけ	3,867.3	6.5	33	0.2	大 分	宮 崎	熊 本
生 しいたけ	70,341.9	1,055.2	21	1.5	徳 島	群 馬	北 海 道
白 炭	3,516	1,692	1	48.1	和歌山	宮 崎	高 知
黒 炭	12,324	22	39	0.2	岩 手	北 海 道	福 島

4) 林業所得と林業産出額

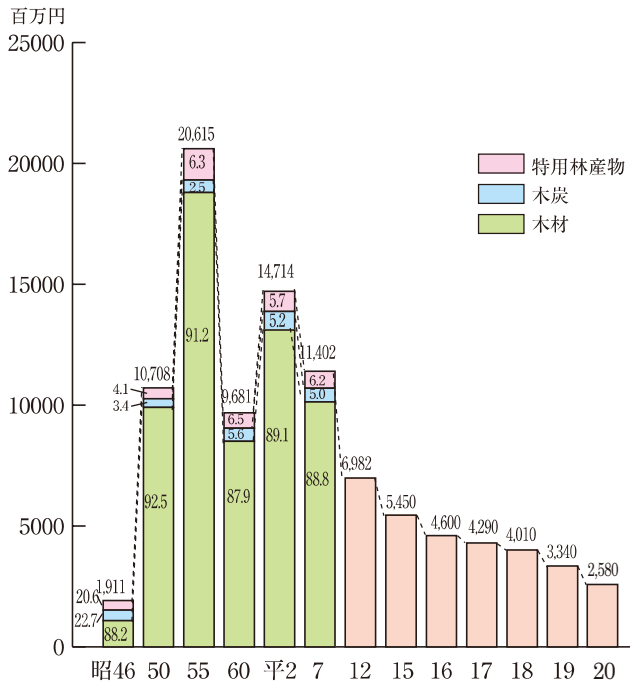
素材価格がピークであった昭和55年を契機に年々減少してきている。

林業産出額の推移



(生産林業所得統計報告書)

生産林業所得額の推移



(生産林業所得統計報告書)

※H10から内訳の計上がされていない

※枠内の数字はパーセントを表す

生産額

〔平20〕 (千万円)		全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
		実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
林 業 産 出 額	総 計	44,487	384	30	0.9	北海道	長 野	新 潟
	木材生産	21,330	204	27	1.0	北海道	宮 崎	岩 手
生産林業所得所	総 計	24,161	258	29	1.1	長 野	北海道	宮 崎

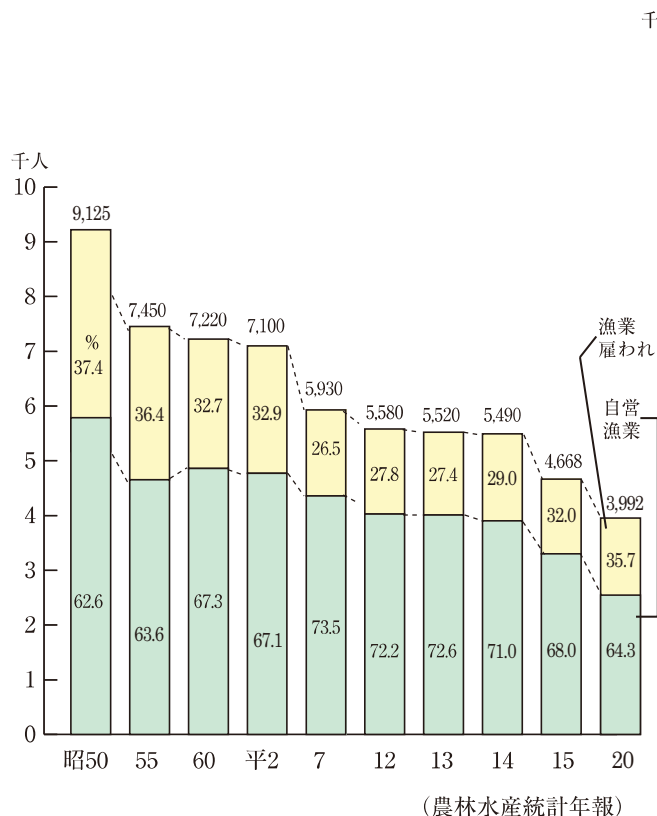
3 水産部門

1) 水産業を担う人々

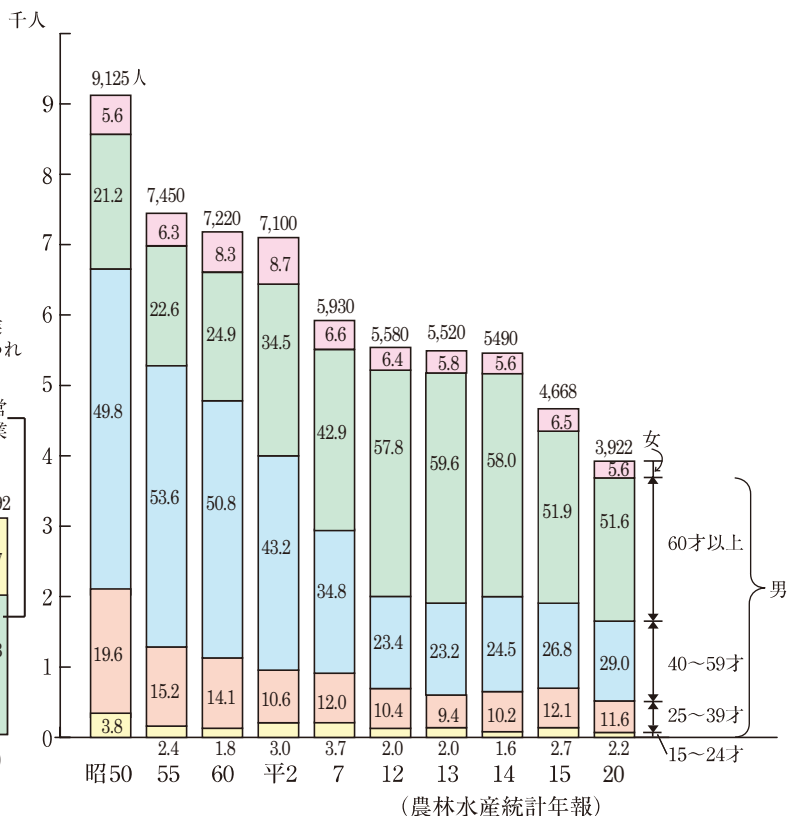
漁業就業数は減少傾向で推移しており平成20年の漁業就業者数は3,922人である。

また、自営漁業就業者のうち年齢別では60才以上の男子就業者が51.6%を占め高齢化が進んでいる。

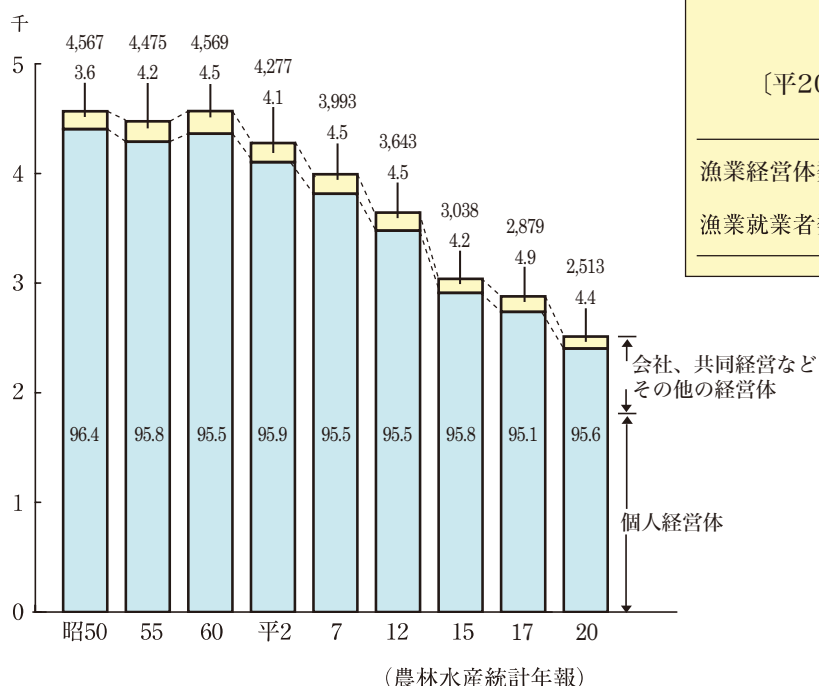
漁業就業者数の推移



年齢区分別漁業就業者数の推移



漁業経営体数の推移



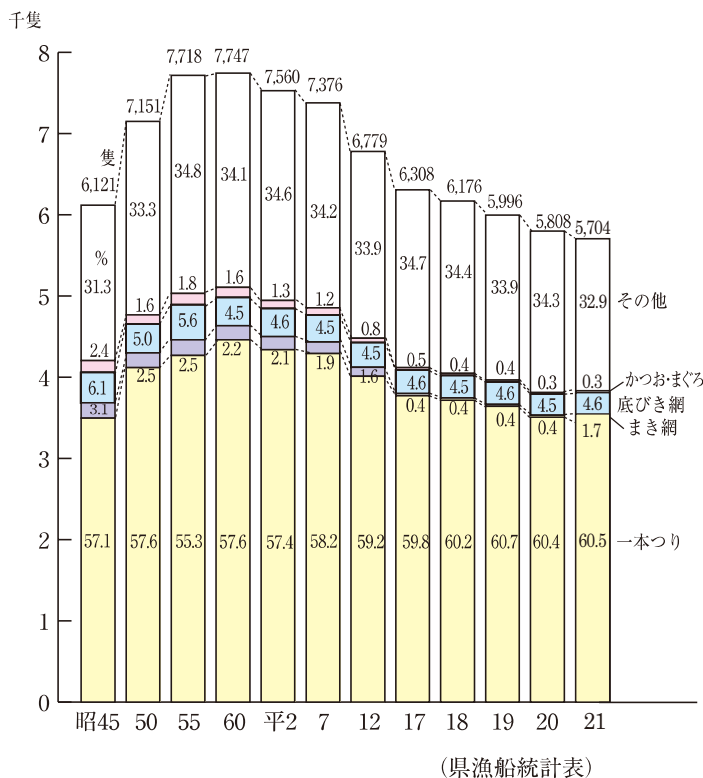
漁業経営体数等

漁業経営体数等							
〔平20〕	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア (%)	県名	県名	県名
漁業経営体数	115,196	2,513	20	2.2	北海道	長崎	岩手
漁業就業者数(人)	221,908	3,922	22	1.8	北海道	長崎	青森

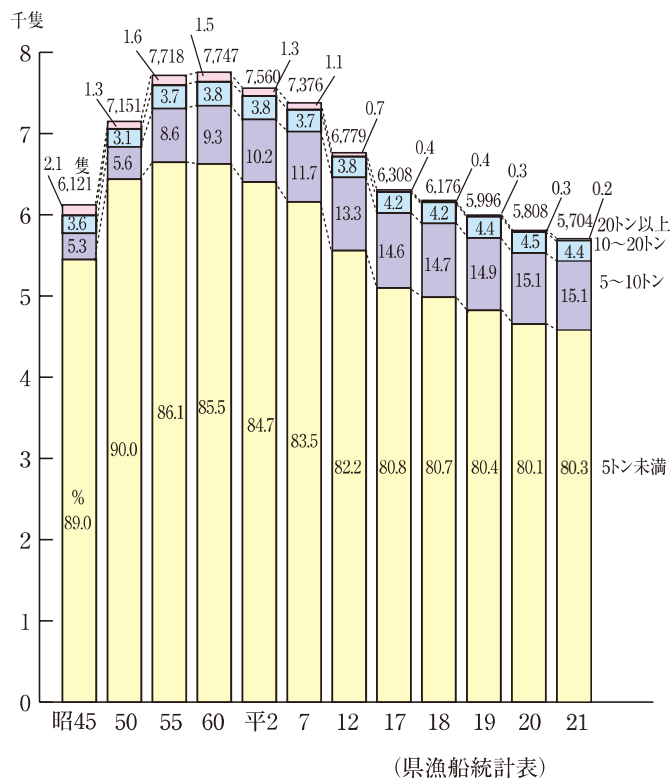
2) 水産業の基盤

海水動力漁船数は昭和60年をピークに減少傾向で平成21年12月末日現在では5,704隻となっている。漁業種類別では「一本釣り」が60.5%、「底びき網」4.6%である。トン数別では5t未満の小型漁船が80.3%と大半を占めている。

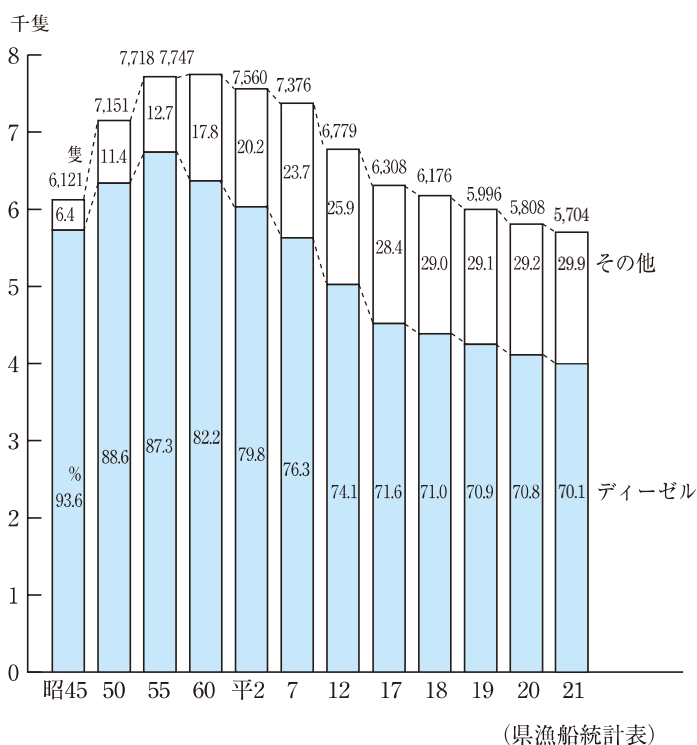
漁業種類別海水動力漁船数の推移



トン数階層別海水動力漁船数の推移



機関種類別海水動力漁船数の推移



漁港の現況

本県には、94港（全国2,916港）の漁港と、122地区（全国4,686地区）の漁業集落がある。また、漁港の種類は、漁船の利用範囲によって下表のように分類されている。

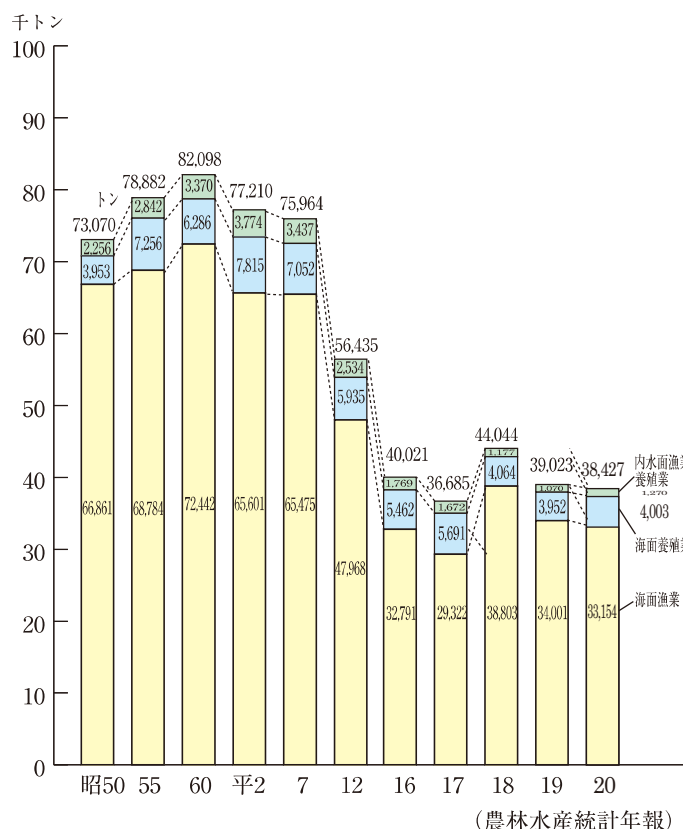
種別	漁港合計	分類の説明
第1種漁港	77	利用範囲が地元の漁業を主とするもの
第2種漁港	11	利用範囲が1種より広く3種に属さないもの
第3種漁港	4	利用範囲が全国的なもの
第4種漁港	2	漁船の避難上特に必要なもの
港合計	94	

3) 水産業の生産

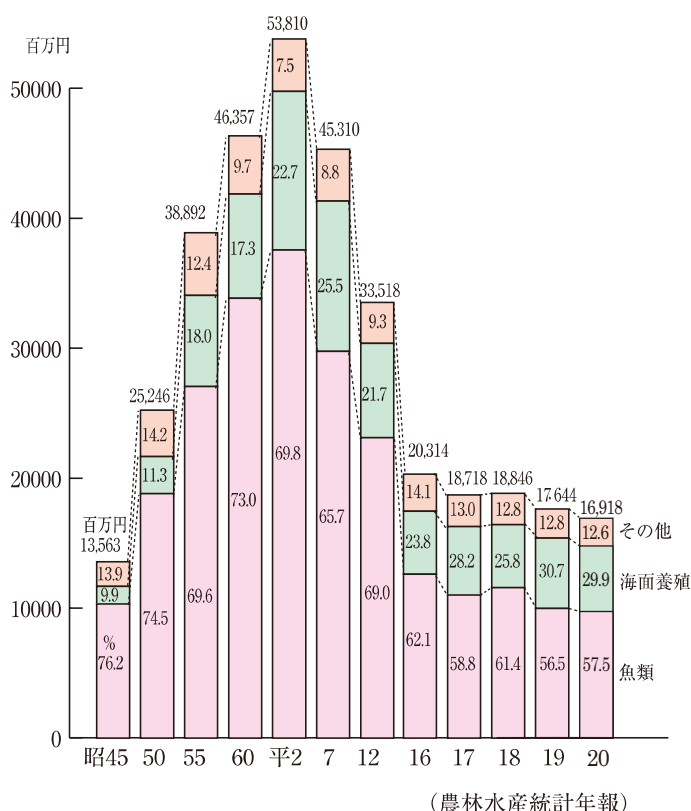
漁業・養殖業の生産量は昭和60年の82,098 tをピークに減少傾向にあり、平成20年は38,427tとなっている。

海面漁業・養殖業生産額は平成2年をピークに減少傾向で平成20年は169億18百万円でピーク時の31.4%となっている。

漁業・養殖業部門別生産量の推移



海面漁業・養殖業生産額の推移



漁獲量

〔平20〕 (t)	全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位			
海 面 漁 業	4,373,329	33,154	27	0.76	北海道	長 崎
魚 類	3,366,536	30,553	26	0.91	北海道	長 崎
えび・かに・いか・たこ	394,500	1,554	33	0.39	北海道	青 森
貝 類	401,021	97	37	0.02	北海道	愛 知
海 藻 類	104,668	623	13	0.60	北海道	愛 知
海 面 養 殖 業	1,146,339	4,003	23	0.35	北海道	宮 城

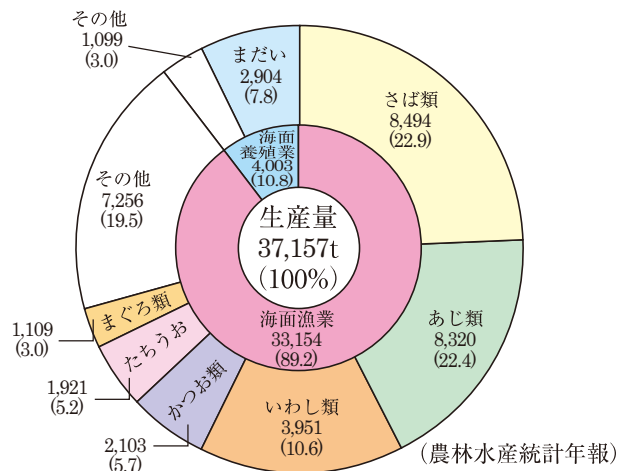
生産額

〔平20〕 (百万円)	全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位			
海 面 漁 業	1,124,568	11,855	27	1.05	北海道	長 崎
海 面 養 殖 業	417,772	5,063	21	1.21	愛 媛	鹿 児 島

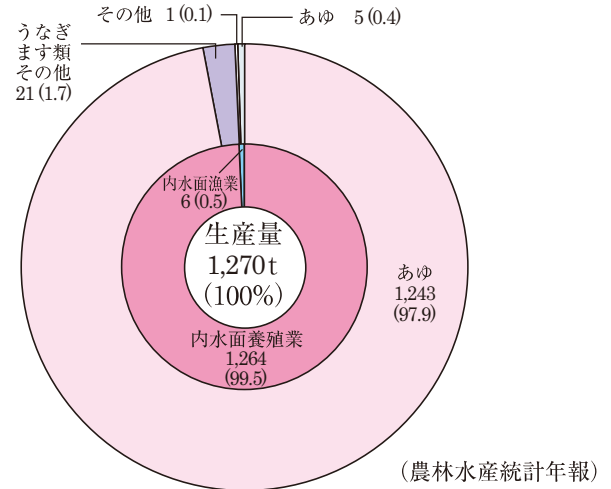
4) 主な魚種別漁獲量・生産額の推移

平成20年の魚種別の生産量は、海面漁業では、さば類22.9%、あじ類22.4%、かつお類5.7%、たちうお類5.2%となっている。海面養殖業ではまだいが72.5%を占め、内水面漁業・内水面養殖ではあゆが98.3%となっている。

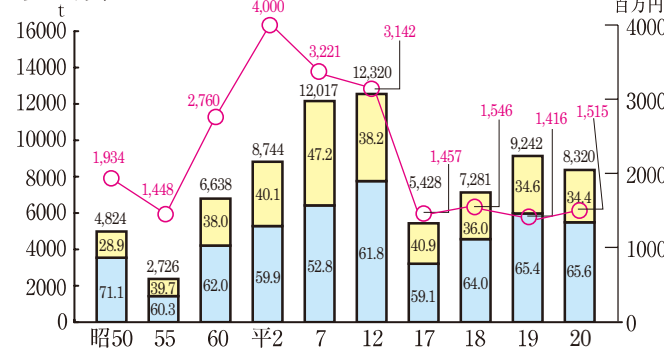
海面漁業、養殖業魚種別生産量（平20）



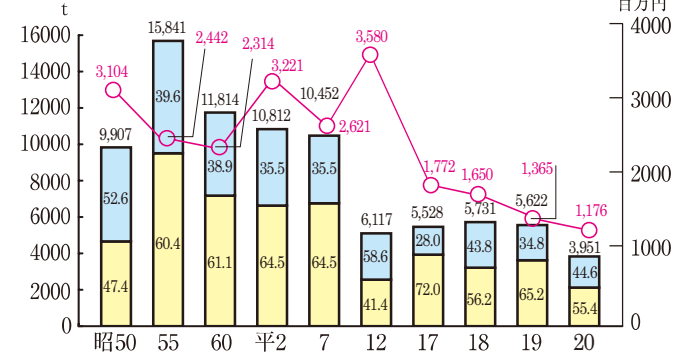
内水面漁業、養殖業魚種別生産量（平20）



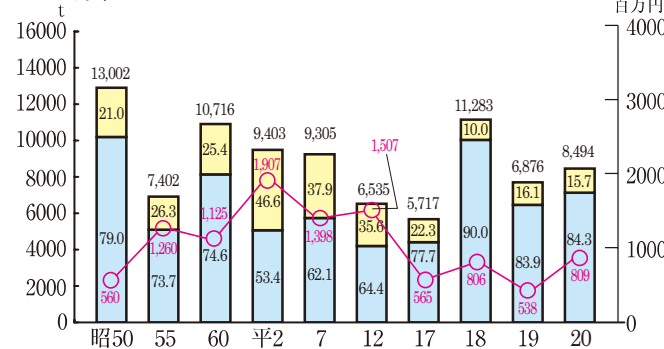
あじ類



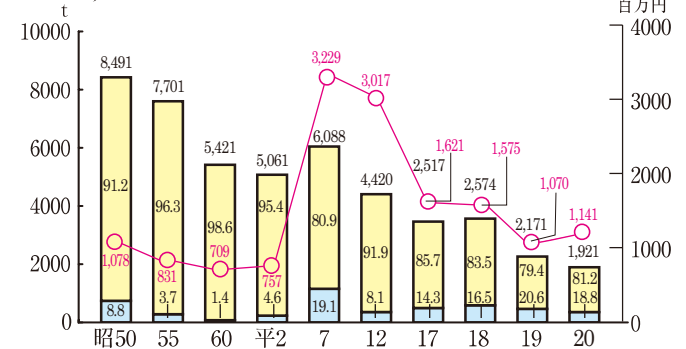
いわし類



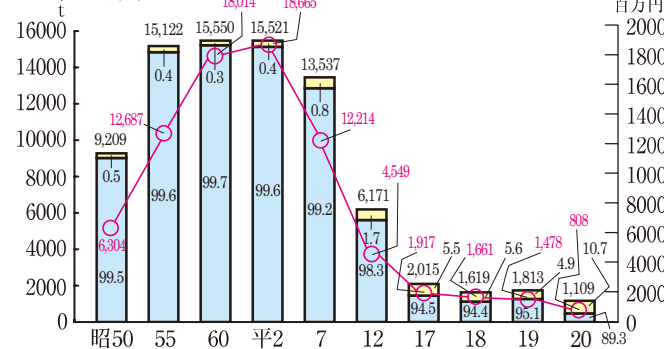
さば類



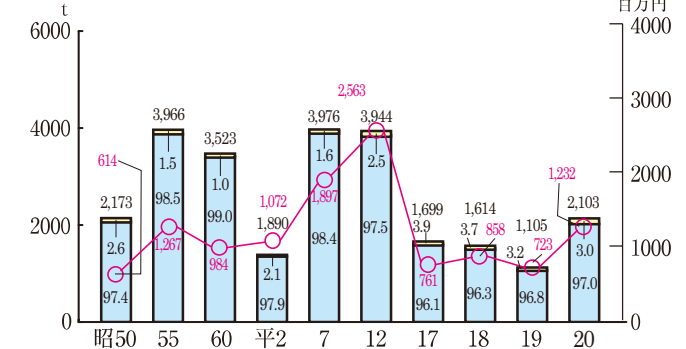
たちうお



まぐろ類



かつお類



漁獲量

瀬戸内海区

太平洋南区

生産金額(百万円)

(農林水産統計年報)

農林水産関係施策を行っている主な課室

農 林 水 産 部

課 室 名		業 務 概 要	電話番号	メールアドレス
農林水産政策局	農 林 水 産 総 務 課	農林水産業振興施策の総合的企画・調整・検査	073-441-2863	e0701002@pref.wakayama.lg.jp
	工 事 検 査 室	農林水産関連の工事検査	073-441-2867	
	食 品 流 通 課	農産物をはじめとする県産品の販路拡大・流通対策、輸出対策	073-441-2811	e0717001@pref.wakayama.lg.jp
	農 業 農 村 整 備 課	土地改良法関係、施設管理、農業農村整備の計画・調整、農業基盤・農村環境・農地の保全施設等の整備	073-441-2943	e0705002@pref.wakayama.lg.jp
農業生産局	果 樹 園 芸 課	農産物の生産振興、農業技術・経営の指導	073-441-2900	e0703001@pref.wakayama.lg.jp
	農 業 環 境 保 全 室	環境保全型農業、肥料・農薬の適正使用、鳥獣害対策、適正狩猟の推進	073-441-2905	e0703002@pref.wakayama.lg.jp
	畜 産 課	畜産業振興のための企画・指導・支援	073-441-2920	e0704001@pref.wakayama.lg.jp
	経 営 支 援 課	農協等の指導、金融支援、農業の構造改善、都市農村交流の推進、農業の担い手確保・育成、農地の利活用	073-441-2880	e0709001@pref.wakayama.lg.jp
森林・林業局	林 業 振 興 課	林業振興のための企画・指導、紀州材の需要拡大山村資源の活用、山村地域の生活環境整備	073-441-2960	e0706001@pref.wakayama.lg.jp
	森 林 整 備 課	森林の造成・保全、山地災害の防止、森林・緑の活用促進、紀の国森づくり基金の活用	073-441-2972	e0707001@pref.wakayama.lg.jp
	全 国 植 樹 祭 推 進 課	平成23年春季開催の全国植樹祭の開催準備	073-441-2984	e0718001@pref.wakayama.lg.jp
水産局	水 産 振 興 課	水産業振興のための企画・指導・支援等	073-441-3000	e0710001@pref.wakayama.lg.jp
	資 源 管 理 課	水産資源の管理・保護、漁業取締・調整・許可等	073-441-3010	e0715001@pref.wakayama.lg.jp

他部局関係課室

企 画 部

課 室 名		業 務 概 要	電話番号	メールアドレス
地域振興局	過 疎 対 策 課	過疎地域の自立促進 わかやま田舎暮らしの企画・調整 子ども農山漁村交流の企画・調整	073-441-2426	e0222001@pref.wakayama.lg.jp

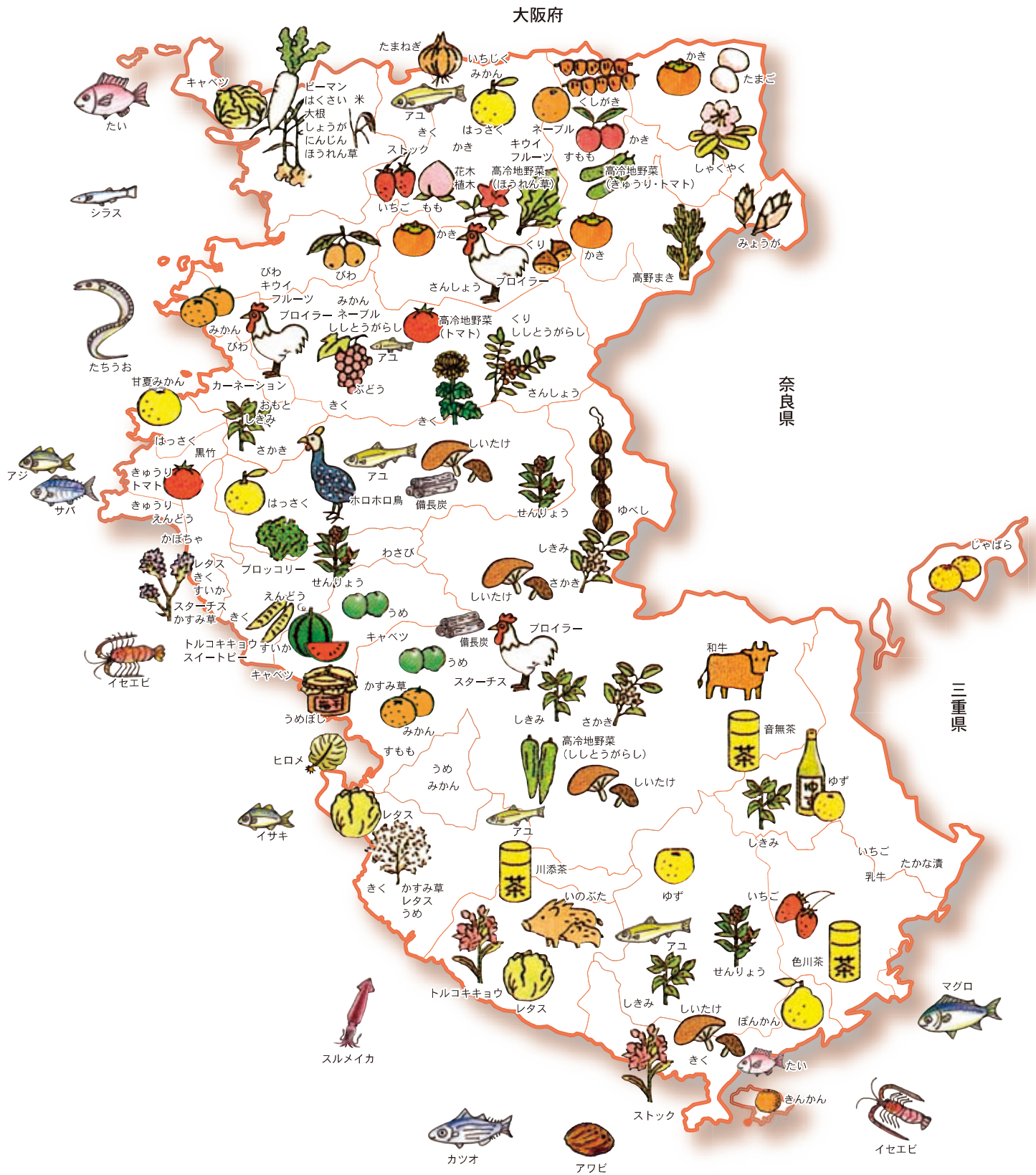
環 境 生 活 部

課 室 名		業 務 概 要	電話番号	メールアドレス
県 民 局	食 品 ・ 生 活 衛 生 課	食品安全確保・食品保健の推進、水道水の安全・安定供給、生活衛生の維持向上、動物と共生する社会づくり	073-441-2635	e0316001@pref.wakayama.lg.jp

県 土 整 備 部

課 室 名		業 務 概 要	電話番号	メールアドレス
道 路 局	道 路 建 設 課	道路（農林道を含む）の整備	073-441-3091	e0802001@pref.wakayama.lg.jp
河川・下水道局	下 水 道 課	生活排水施設の整備促進、農業集落排水の整備	073-441-3203	e0814001@pref.wakayama.lg.jp
港湾・空港局	漁 港 整 備 室	漁港・漁港海岸の整備、漁村環境の整備	073-441-3023	e0825002@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県の農林水産物





	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農産物												
みかん												
うめ												
かき												
もも												
えんどうまめ												
しょうが												
林産物												
さんしょう												
みょうが												
せんりょう												
水産物												
まぐろ												
かつお												
たちうお												
いせえび												

県の花

うめ



梅はバラ科に属し、古くから紀南地方を中心に栽培されています。2月から3月にかけて美しい花を咲かせ、香りもすばらしく、春を告げる花として親しまれています。

県の鳥

めじろ



メジロ科、日本特有の小鳥で本県に多く、古くから県民に親しまれています。ウグイス、ヤマガラなどとともに、保護鳥に指定されています。

県の木

うばめがし



ブナ科の常緑樹で、紀南地方に特に多く見られます。高温多湿を好みますが、耐乾性も強く生命力の強い木として知られています。紀州備長炭の原木です。

県の魚

まぐろ



サバ科に属し、なかでもクロマグロが代表的。樺太、北海道以南、フィリピンにまで分布し、刺身として極めて美味でトロは有名。クロマグロは全長3mに達します。